

会報

第 65 号

2015.10

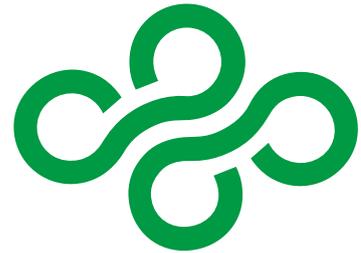


一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

県危連「シンボルマーク」

1977年に県危連のシンボルマークを一般公募した結果、鈴木範夫氏の作品が選ばれた。

このマークは、危険物の「危」を図案化したもので、緑色は安全を意味している。



表紙写真の説明

題 名 世界文化遺産 韮山反射炉
写真提供 伊豆の国市

平成27年7月5日、ドイツで行われた第39回世界遺産委員会において韮山反射炉は『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』の世界文化遺産登録が決定されました。

幕末期の日本では、迫りくる諸外国の艦隊に対する防衛策の一つとして、進歩した西洋技術を取り入れるとともに、鉄製大砲の大量生産に取り組みました。佐賀、薩摩などの先駆的な藩が反射炉を築造する一方で、韮山代官江川英龍の進言によって幕府が築造したのが韮山反射炉です。

鎖国下の日本においてオランダの技術書と日本の伝統的な技術との統合により独力で反射炉築造による西洋技術の獲得を追求した試みは、人類の価値観の重要な交流の証拠となるものです。そして、反射炉の築造に際しては、先行して取り組んでいた佐賀との間で活発な技術交流が行われており、国内での技術伝播を示す証拠でもあります。

また、オランダの技術書からはごく基本的な情報しか入らなかったにもかかわらず反射炉の築造に成功したことは、当時の日本の職人の技術力（匠の技）と伝統的な知識の高さを証明するものです。

さらに実際に稼働した反射炉として国内で唯一現存する韮山反射炉は、日本における近代製鉄技術導入の黎明期を象徴する重要な物証であり、「明治日本の産業革命遺産」の中で、西洋技術の自主的な採用を示す初期段階の重要な構成資産と位置付けられています。

— 広報いずのくに韮山反射炉世界遺産登録決定特別号より —

【所在地】 〒410-2113 静岡県伊豆の国市中字鳴滝入268

【電話】 055-949-3450

【観覧料】 一般100円 小中学生50円（H27.9.1現在）

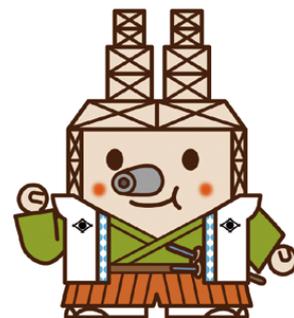
【開館時間】 9時～16時30分

【休館日】 12月31日・1月1日

【アクセス】

- ・新東名高速道路長泉沼津ICから
伊豆縦貫道伊豆中央道江間IC経由30分
- ・伊豆箱根鉄道駿豆線伊豆長岡駅から
徒歩約20分、タクシー約7分

【駐車場】 有（バス13台 乗用車50台）

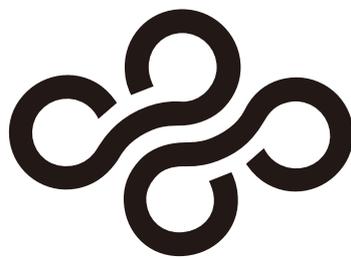


韮山反射炉PRキャラクター
てつざえもん

会報

第 65 号

2015.10



一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

●●● 目 次 ●●●

◇ 会長あいさつ （一社）静岡県危険物安全協会連合会会長	中島 博康 -----	1
◇ 会報の発行に寄せて 静岡県危機管理部消防保安課長	花嶋 隆 -----	2
◇ 平成27年度全国危険物安全大会 -----		3
・消防庁長官表彰受賞者の紹介 -----		5
・（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞者の紹介 -----		7
◇ 平成27年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会 -----		12
【ちょっとひといき・コラム】 「熱海今昔」 熱海市防火協会会長	内田 進 -----	18
◇ 国の動き ・平成26年危険物関係の主な通知 -----		21
・平成27年度危険物事故防止アクションプラン -----		23
【ちょっとひといき・コラム】 「パブリックビューイング（Public viewing）に参加して」 田方防火協会会長	松本 昭二 -----	26
◇ 県内危険物施設の事故状況（平成26年） -----		28
【ちょっとひといき・コラム】 「ゆたかな国土をいつまでも」 （一社）静岡県危険物安全協会連合会理事 富士市防火協会会長	鶴田 厳一 -----	30
◇ 危険物安全協会連絡会だより 「西風のたより」 西部地区危険物安全協会連絡会 -----		31
【ちょっとひといき・コラム】 「たまには推理もの三昧」 御前崎市危険物安全協会会長	野川 修身 -----	34
「時間をやりくりして」 菊川市危険物安全協会会長	平松 敏和 -----	35

◇ 危険物安全協会連絡会だより			
「無事故へと 気持ち集中 はっけよい」			
中部地区危険物安全協会連絡会	-----		36
【ちょっとひといき・コラム】			
「幸せの黄色い布」			
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会副会長			
静岡市防災協会会長		糠谷 徳昭	----- 39
「チャレンジ!! “富士登山”」			
高田・北榛原地区危険物安全協会会長		寶勝 智貴	----- 40
◇ 危険物安全協会連絡会だより			
「絆」			
東部地区危険物安全協会連絡会	-----		42
【ちょっとひといき・コラム】			
「私のストレス解消」			
東伊豆町危険物安全協会副会長		稲葉 智之	----- 45
「還暦を迎えて思うこと」			
裾野市防火協会会長		瀧本 敏幸	----- 47
◇ 地区協会の広場			
掛川市危険物安全協会	-----		48
焼津市危険物安全協会	-----		52
田方防火協会	-----		55
◇ 県危連からのお知らせ			
・危険物取扱者保安講習のご案内	-----		59
・危険物取扱者試験予備講習のご案内	-----		60
・平成26年度事業報告書	-----		61
・平成26年度決算	-----		66
・平成27年度事業計画	-----		67
・平成27年度収支予算	-----		70
・視聴覚教材一覧	-----		72
・役員・地区協会会長名簿	-----		73
・賛助会員名簿	-----		75
・各委員会の委員名簿	-----		75
◇ 地区協会事務局住所	-----		76
◇ 編集後記	-----		77



会長あいさつ

一般社団法人 静岡県危険物安全協会連合会
会 長 中 島 博 康

平成26年度を振り返ると、多くの自然災害が発生した年でした。

8月に広島市で発生した豪雨災害では74名の方が犠牲となり、9月の御嶽山の噴火災害では、60名を超える死者・行方不明者が発生するなど、大変な被害となりました。

一方、本年5月29日に国が公表した「平成26年度中の危険物事故」の概要によると、全国の危険物施設の事故発生件数は599件で、前年に比べて35件増加し、依然として高い水準で事故の発生が推移しています。

昨年5月に東京都町田市で鎮火まで38時間を要するマグネシウム火災が発生しましたが、危険物事故はひとたび発生すると甚大な被害に発展する恐れがあるとともに、社会的な影響も大きいものがあります。

さらに、静岡県では南海トラフ地震などの大規模地震や、富士山噴火の発生も危惧され、関係機関において様々な対策に取り組まれています。

このような状況のなか、危険物施設を管理運営する私どもとしては、その安全対策について、重要性を再認識し、事故を起こさない、さらには、地震を始めとした自然災害の発生も想定して、如何にして減災に取り組むかなど、消防機関等のご支援をいただきながら、近年の新たな課題に対峙し、一步でも前進させていくことが求められているのではないのでしょうか。

当連合会としましても、危険物に対する安全意識の普及・啓発事業を始め、人材育成事業などに一層の努力をしてまいりますので、皆様方の引き続いてのご協力をお願いします。

終わりに、行政当局、地区協会など日頃お世話になっております皆様方のご健勝とご発展を衷心よりお祈り申し上げます。



会報の発行に寄せて

静岡県危機管理部消防保安課長

花 嶋 隆

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の皆様におかれましては、平素から危険物に係る安全思想の普及をはじめ、危険物を取扱う施設・設備等における安全管理体制の整備等を積極的に推進され、地域社会の安全確保に多大な貢献をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、全国における危険物施設に係る火災・流出等の事故件数は、平成元年以降、事故が最も少なかった平成6年の287件を境に増加傾向に転じ、平成26年には約3倍の818件となりました。県内においても、毎年事故が発生しており、引き続き積極的に事故防止対策に取り組んでいく必要があります。

毎年度、国では官民一体となった危険物事故防止を推進するため、事故防止対策の重点項目として「危険物事故防止アクションプラン」をまとめています。今年度の重点項目として、①保安教育の充実による人材育成・技術の伝承、②想定される全てのリスクに対する適時・適切な取組、③企業全体の安全確保に向けた体制作り、④地震・津波対策の推進が定められています。各事業所におかれましては、このアクションプランの重点項目を中心とした事故防止の取組を積極的に実施されますようお願い申し上げます。

昨今、危険物施設にも多大な被害が想定される南海トラフ巨大地震の発生が危惧されております。本県では、南海トラフ巨大地震に対応するため「第4次地震被害想定」を踏まえ10年間で犠牲者を8割減らすことを目標に、具体的な対策を鋭意進めているところであります。大規模災害に備える三つの基本は自助・共助・公助であります。連合会の皆様が、地域における防災体制の中核として、共助の取組を進めていただきますことを大いに期待申し上げます。

県といたしましては、県民の皆様が安全で安心して生活を送ることができますよう、「『命』を守る危機管理」に一層取り組んで参りますので、今後とも何卒御理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を心より祈念申し上げます。

平成27年度 全国危険物安全大会

平成27年6月8日(月)、平成27年度全国危険物安全大会が、東京都千代田区のスクワール麴町で、全国の危険物安全協会関係者をはじめ、坂本森男消防庁長官など多数の関係者が出席し、盛大に開催されました。

式典は、消防庁長官の式辞に続き、消防庁長官表彰、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状の受賞者に表彰状・感謝状が授与された後、危険物安全大会宣言で締めくくられました。

表彰式後、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 室崎益輝氏による「大震災の教訓と減災の考え方」と題した記念講演が行われました。

なお、当日受賞の栄誉に輝かれた本県関係者は次のとおりです。心からお祝い申し上げます。

(地区協会役職名等は受賞時のものです)

消 防 庁 長 官 表 彰

◆危険物保安功労者(個人)

岩 本 栄 久

浜松市防災協会理事

◆優良危険物関係事業所

三井化学東セロ株式会社 浜松工場

浜松市防災協会

(一財)全国危険物安全協会理事長表彰

◆危険物保安功労者(個人)

後 藤 浩

沼津市防火協会副会長

吉 村 鉄 也

焼津市危険物安全協会理事

古 橋 吉 正

磐田市危険物安全協会監事

◆優良危険物関係事業所

株式会社ツチヤコーポレーション

藤枝市危険物安全協会

◆感 謝 状

波多野 秀 樹

前三島市防火協会副会長

平成27年度 全国危険物安全大会

日時：平成27年6月8日（月）

場所：スクワール麹町（東京都）



坂本森男消防庁長官式辞



理事長表彰



消防庁長官表彰保安功労者受賞者



消防庁長官表彰優良事業所受賞者



代表謝辞



記念講演

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）

岩本 栄久 協和建設協業組合 常務理事
浜松市防災協会 理事



平成27年6月8日(月)、東京都千代田区のスクワール麹町で平成27年度全国危険物安全大会が開催され、その席上で、総務省消防庁長官から危険物保安功労者として名誉ある表彰を受けることができました。

これもひとえに浜松市防災協会並びに浜松市消防局の皆様の御指導御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

浜松市防災協会は、平成27年4月に浜松市内の4つの防火協力団体が合併し設立したばかりです。

私は、前身の浜松市危険物安全協会から協会の役員として33年に渡り事業の運営に携わらせていただいております。危険物関係事業所の安全管理体制の確立を図るため、年間を通じて、訓練や研修及び他市への視察など、活発な活動を展開してまいりましたが、合併により防災協会となり、あらゆる業種の事業所が会員となりましたので、今後はさらに活動の範囲も広がり、火災をはじめ災害全般に対して、事業所の防火・防災思想の普及啓発と自主防火管理体制の確立に取り組んでいくこととなります。

私も微力ではありますが、この表彰を機に、さらに協会の事業に寄与できるよう努めてまいりますので、引き続き関係各位からの御指導を宜しくお願い申し上げます。

総務省消防庁長官表彰

○優良危険物関係事業所

三井化学東セロ株式会社浜松工場（浜松市防災協会理事事業所）



（工場長 田村智彦氏）

平成27年6月8日（月）、東京都千代田区スクワール麹町において開催されました平成27年度危険物安全大会において、総務省消防庁長官から「優良危険物関係事業所表彰」受賞の栄誉を賜りましたことは、御推薦を頂きました浜松市消防局、浜松市防災協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の皆様方の御指導御支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

当事業所は、昭和57年に食品包装用を主としたフィルム製造工場として、浜松市浜北区（旧浜北市）尾野に開設をしました。危険物関係としては、危険物貯蔵所と一般取扱所があり、また、原料樹脂倉庫やフィルム製品倉庫などの指定可燃物倉庫などがあります。

当地域は東南海地震など大規模災害が叫ばれている地域であることから、有事の対応など保安・防災意識の高揚を常に図り、今後も更に関係機関等との連携を密にし、保安・防災対策に万全を期す所存であります。

また、この表彰を機に、企業として更なる見直しや改善を推し進め、地域社会の発展に尽くしていきたいと考えておりますので、今後とも御指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

後藤 浩 植松石油商事株式会社 代表取締役
沼津市防火協会 副会長



この度、平成27年6月8日、東京四谷駅前スクワール麹町で開催されました平成27年度危険物安全大会において、全国危険物安全協会理事長より栄えある表彰に与りましたことは、誠に光栄の至りでございます。

昭和40年に沼津市危険物安全協会（現沼津市防火協会）が設立され、協会会員個々の危険物に対する認識を深めることを目的に、沼津市消防本部のご指導のもと、37年前より毎年10月、会員2名が一組となって、協会加入事業所の危険物施設巡回点検指導を実施し、施設ごと不備改善に努力を重ねてまいりました。この活動が認められ、昭和62年に沼津市危険物安全協会が内閣総理大臣表彰を受賞することが出来ました。

今日まで巡回点検指導が継続されていることは、会員の一人として、喜びであり、誇りでもあります。

弊社は、石油販売を通じて65年間、この地沼津で事業を展開してまいりました。このように長い間営んでこられましたのは、偏に沼津市防火協会、(一社)静岡県危険物安全協会連合会の関係者の皆様のご指導、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

結びに、関係各位のますますの発展と、ご健勝をお祈り申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

吉村 鉄也 株式会社吉村 代表取締役副社長
焼津市危険物安全協会 理事



去る6月8日、(一財)全国危険物安全協会主催の平成27年度危険物安全大会におきまして、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰をいただきました。誠に光栄であり、心から厚くお礼申し上げます。

これも偏に平素よりご指導をいただいている静岡県危険物安全協会連合会及び焼津市危険物安全協会並びに関係各位の賜であり、心より深く感謝申し上げます。

当社は、東京都品川区に本社を置き、創業83年となります。食品用のパッケージを製造販売しており、グラビア印刷時に危険物である有機溶剤を取り扱っています。昭和47年に静岡県焼津市に工場を建設し、危険物の取り扱いを始め、早くも43年が経過しました。お陰さまで、無事故の実績を積み上げることができました。

今回の表彰を機に更に社員教育、施設管理、安全対策に万全を期し、100年企業の仲間入りを目指して参ります。今後も更なるご指導、ご鞭撻の程、よろしくごお願い申し上げます。

また、焼津市危険物安全協会の理事として、協会の更なる発展や地域社会への貢献なども微力ながら努力をしていく所存です。

最後に(一財)全国危険物安全協会、静岡県危険物安全協会連合会及び焼津市危険物安全協会の益々のご発展と関係各位のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

古橋吉正 竜東石油株式会社 代表取締役
磐田市危険物安全協会 監事



この度、平成27年6月8日に東京都内スクワール麹町会館で（一財）全国危険物安全協会主催の平成27年度全国危険物大会の席上におきまして、全国危険物安全協会理事長より危険物保安功労者として表彰をいただき身に余る光栄でございます。

私の事業所は、磐田市危険物安全協会の会員として常に危険物の保安管理の遵守と社員に対する安全の管理教育に力を注いできましたが、今回、全国危険物安全協会理事長表彰をいただくことができたのも、偏に、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の皆様並びに磐田市危険物安全協会の皆様のご指導とお力添えの賜物と深く感謝を申し上げます。

また、本年は私が属する磐田市危険物安全協会が創立50周年を迎え二重の喜びを感じます。

危険物を取り扱う事業所として、より一層の安全意識の高揚を図り、さらに環境と安全を最優先とした活動を行い地域社会に貢献をして行く所存であります。

終わりに静岡県危険物安全協会連合会及び磐田市危険物安全協会の益々のご発展と、関係各位の皆様のご健勝を心から祈念し、お礼とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○優良危険物関係事業所

株式会社ツチヤコーポレーション (藤枝市危険物安全協会)



(常務取締役 土屋 仁氏)

本年6月8日、東京都千代田区「スクワール麹町」において、「平成27年度危険物安全大会」が開催され、弊社が栄えある理事長表彰を受賞致しました。

この受賞は、静岡県危険物安全協会連合会様及び藤枝市危険物安全協会会員の皆様の後押しがあったからに他ありません。又、平素から種々の事業に取り組んできた協会全体が評価されたものと思います。

紙面をお借りして、お礼申し上げます。誠に有難うございました。

弊社は、多角化により各部門が各事業の運営しております。

大きく分けると、石油部門・LPガス部門・スパ温浴部門・モバイル携帯部門となりますが、他にその部門内に環境関連・不動産・保険・車検・板金塗装・空調住宅設備等の各事業も運営しており、地域社会に貢献する「総合生活関連企業」を目指しております。

保管理体制につきましては、各部門が「BCP事業継続計画」に基づき、防災訓練を定期的実施しております。所轄の消防署様のご協力を得て避難訓練・地震対応訓練にも立ち会って頂き現場でご指導頂いており、また消防署様の「普通救命講習」にも定期的に参加しております。

これを機に更なる防災意識の向上で、リスク・クライシスマネジメント力のレベルアップを図り「無事故無災害」を続けてまいり所存です。

協会の皆様のご指導ご鞭撻を今後とも宜しくお願い致します。

最後に静岡県危険物安全協会連合会様及び藤枝市危険物安全協会様の益々のご発展と関係する皆様のご健勝を祈念申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長感謝状

○感謝状

波多野秀樹 前 三島市防火協会副会長



平成27年6月8日、東京麹町のスクワール麹町にて平成27年度危険物安全大会が開催され、その席上栄えある理事長表彰を受賞でき深く感謝申し上げます。

前身の三島市危険物安全協会から現在の三島市防火協会まで、協会の活動に携わらせていただき感謝申し上げます。これも偏に日頃よりご指導を頂いている三島市消防本部ならびに三島市防火協会、(一社)静岡県危険物安全協会連合会関係各位皆様のご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、今も当時の映像に接するたびに悲惨な記憶を思い起こし改めて自然の恐ろしさを思い知らされます。また、福島第一原子力発電所の廃炉は長期に渡り対応しなければならず、被災地域への復興は長期的に様々な課題と取り組まなければなりません。また各地で火山活動が活発になっている原因は、東日本大震災ではないかという学者もおります。

自然災害は防げないとしても、それに備えることで被害を最小限にすることは可能です。多くの先輩諸氏が残してくれた防災への心構えを忘れることなく、常日頃から一人ひとりが準備をしていく、自助力の大切さを再度確認したいと思います。

結びに、このような機会を与えて頂きました、静岡県危険物安全協会連合会の益々の発展と関係各位の皆様にご感謝を申し上げ、御礼とさせていただきます。

平成27年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会

平成27年9月5日（金）、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の第45回創立記念大会が、静岡市の静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で盛大に開催されました。当日は、来賓として、静岡県危機管理監兼危機管理部長 外岡達朗様、静岡県消防長会会長 大橋正行様のご臨席を賜り、また、多くの来賓、地区協会関係の皆様のご参加をいただきました。

中島博康会長のあいさつの後、長く保安功労等に務められた個人と事業所に対し、静岡県知事及び連合会会長から、賞状、褒状、感謝状がそれぞれ授与されました。その後、エコノミスト・BRICS 経済研究所代表 門倉貴史氏より「これからの日本経済～アベノミクスと新興諸国～」と題して記念講演を行いました。

（1）静岡県知事表彰

（保安功労者）

後 藤 浩
池 田 敦 郎
佐 竹 康 次

沼津市防火協会
焼津市危険物安全協会
浜松市防災協会

（2）静岡県知事褒賞

（保安功労者）

寺 田 靖 志

吉田榛原危険物安全協会

（優良危険物取扱者）

竹 本 明 男

三島市防火協会

（優良事業所）

東レ株式会社総合研修センター
富士食品工業株式会社静岡金谷工場
THKリズム株式会社浜松工場
コスモ石油販売株式会社
東中部カンパニー セルフ湖西

三島市防火協会
島田・北榛原地区危険物安全協会
浜松市防災協会
湖西市危険物安全協会



中島博康会長挨拶



記念式典の様子

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(保安功労者)

日吉誠	伊東市危険物安全協会
平野広章	清水町防火協会
勝間田賢一	御殿場市小山町防火安全協会
平柳敏久	富士市防火協会
小泉雅彦	静岡市防災協会
増田壽	島田・北榛原地区危険物安全協会
安達学	牧之原市相良地区危険物安全協会
大石幸博	御前崎市危険物安全協会
松本英則	浜松市防災協会
山田佳一	湖西市危険物安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良事業所)

株式会社伊豆東海バス熱海営業所	熱海市防火協会
矢崎エナジーシステム株式会社富士工場	御殿場市小山町防火安全協会
荒川化学工業株式会社富士工場	富士市防火協会
小野薬品工業株式会社フジヤマ工場	富士宮市防火安全協会
静岡生化学株式会社	静岡市防災協会
昭和礦油株式会社焼津支店	焼津市危険物安全協会
シミックCMO株式会社	島田・北榛原地区危険物安全協会
株式会社サカタのタネ掛川総合研究センター	掛川市危険物安全協会
株式会社ウチゲン袋井事業所	袋井保安管理協会
株式会社ブリヂストン磐田工場	磐田市危険物安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

馬場敏一	下田地区危険物安全協会
土岐守	東伊豆町危険物安全協会
内田伸二	伊東市危険物安全協会
小澤匠	熱海市防火協会
金刺郁磨	田方防火協会
水口大輔	沼津市防火協会
杉村正仁	清水町防火協会
増田克博	三島市防火協会
青野雅彦	長泉町防火協会
渡辺伸一	裾野市防火協会
芹沢博行	御殿場市小山町防火安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

金 田 秀 一	富士市防火協会
芦 川 章 雄	富士宮市防火安全協会
赤 堀 訓 亨	静岡市防災協会
村 松 秀 雄	焼津市危険物安全協会
池 川 俊二郎	藤枝市危険物安全協会
松 島 好 江	島田・北榛原地区危険物安全協会
中 村 慎一郎	吉田榛原危険物安全協会
丹 所 久 昇	牧之原市相良地区危険物安全協会
横 山 善 博	御前崎市危険物安全協会
大 石 泰 孝	菊川市危険物安全協会
横 山 邦 彦	掛川市危険物安全協会
宮 脇 祐 孝	袋井保安管理協会
宮 野 知津夫	磐田市危険物安全協会
犬 塚 英 明	浜松市防災協会
中 島 健	湖西市危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(連合会理事・監事・地区協会会長)

春 日 雅 博	前富士市防火協会会長・前連合会副会長
久 本 浩 二	前長泉町防火協会会長
中 川 好 大	前裾野市防火協会会長
秋 田 眞 行	前藤枝市危険物安全協会会長
仲 田 勝 利	前島田・北榛原地区危険物安全協会会長
村 田 匡 人	前湖西市危険物安全協会会長

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(地区協会事務局前担当者)

菊 池 信 雄	下田地区危険物安全協会
熊 谷 佳 和	田方防火協会
植 田 豊 一	沼津市防火協会
近 藤 利 昭	長泉町防火協会
佐 藤 龍 一	長泉町防火協会
高 村 新 一	裾野市防火協会
室 伏 郷 志	裾野市防火協会
土 屋 尚	御殿場市小山町防火安全協会
菅 原 一 朗	富士宮市防火安全協会
渡 井 大 樹	富士宮市防火安全協会
小 田 博 一	藤枝市危険物安全協会
道 田 浩 二	島田・北榛原地区危険物安全協会
原 木 秀 明	牧之原市相良地区危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(地区協会事務局前担当者)

野 賀 敏 之
大 柳 正 徳
寺 田 一 彦

御前崎市危険物安全協会
菊川市危険物安全協会
磐田市危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会主催保安講習会講師)

杉 山 政 隆
伊 藤 隆 広
中 田 敬 子
平 井 良 宏
渡 辺 広 和
松 田 英 晴
赤 間 勇 太

静岡市消防局
御前崎市消防本部
御前崎市消防本部
掛川市消防本部
掛川市消防本部
袋井消防本部
湖西市消防本部



知事表彰授与



会長表彰授与



会場の様子



受賞者



外岡達朗県危機管理監祝辞



大橋正行県消防長会会長祝辞



後藤浩氏代表謝辞



鶴田巖一理事大会宣言



記念講演



会場全景

(一社)静岡県危険物安全協会連合会

創立記念大会 記念講演のご案内

日時：平成27年9月4日(金) 14:45~16:15

会場：グランシップ「風」

これからの日本経済

～アベノミクスと新興諸国～



エコノミスト、BRICs 経済研究所代表

門倉 貴史 氏

アベノミクス第2幕の効果で日本経済が今後どうなっていくのかを展望する。デフレから脱却した後の成長戦略についても検討する。

合わせて、国内企業の視点に立って、中長期的にグローバル戦略の重要性、新興国市場攻略の重要性が高まっていることを確認していく。新興国の中でも、日本の企業にとってとくに有望と考えられる国の経済についても紹介したい。

プロフィール

BRICs 経済研究所 代表

1971年神奈川県生まれ。

95年慶應義塾大学経済学部卒業。

銀行系シンクタンク、生保系シンクタンク等を経て05年にBRICs 経済研究所を設立。

専門は、日米経済、アジア経済、BRICs 経済、地下経済、行動経済学と多岐にわたる。

現在は同研究所の活動とあわせて、フジテレビ「ホンマでっか!?TV」、

テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」など各種メディアにも出演中。

また、雑誌・WEBでの連載や各種の講演も多数行なっている。『図説 BRICs 経済』『人にいえない仕事はなぜ儲かるのか?』『インドが中国に勝つ』『日本人が知らなかったVISTA株』など著書多数。



熱海今昔

熱海市防火協会 会長

内田 進

江戸時代末期に相撲番付宜しく全国温泉地番付が発行されました。

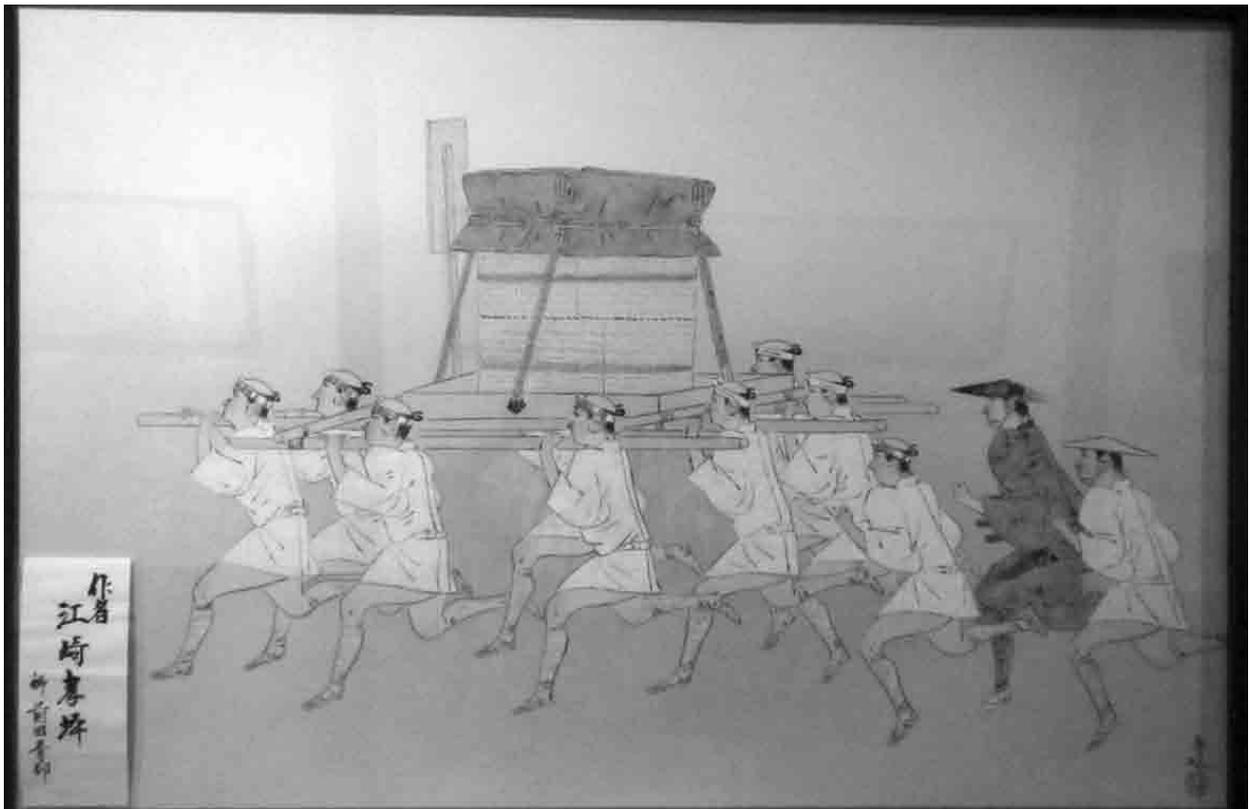
東の横綱は草津温泉、西の横綱は別府温泉です。熱海温泉は行司役として左右横綱の中央に一際大きな文字で書かれています。江戸初期中期を通じ、人々は自国の所領から出ることはまれで、お伊勢参りを代表とする寺社仏閣への参拝、または湯治目的に限られ、名主の許可も必要でありました。江戸も後期になると人々の旅への欲望は強く、幕府も文化二年（1805年）、一夜湯と称し物見遊山の旅が許されるようになります。熱海は家康が関が原に先立つ慶長二年、天下をとった後の慶長九年の二度訪れています。二度目のときには多くの家臣を同行させ、尾張藩主となる九男・義直と紀州藩主となる十男・頼宣も同行させた旅でした。

三代家光は熱海に別邸を建て、現在は熱海市役所となっています。四代家綱になると熱海の湯が江戸城へ献上されることとなりお汲湯と呼ばれました。樽詰めにされたお湯は昼夜兼行で運ばれ江戸に着いたときにも温かかったという記録が残っています。

御 汲 湯 図

古屋旅館蔵





※道中は武士の護衛付きで雲助人足に担がせ【御殿湯】と称して運び、途中では櫓桶を地面に置かず肩つぎで江戸城に運んだと言われています。

巷では **熱海よいところ 日の丸たてて 御本丸へとお湯がいく** とうたわれました。

とりわけ、熱海温泉を好んだのは八代吉宗でほぼ三日に一回の割合でお湯が献上されました。伊豆は幕府の直轄領だったため数多くの大名が訪れています。明治に入っても、政府の高官の多くが熱海を訪れ新政府運営をはじめ、数多くの密談も行われていました。当時の浮世絵の中に、浴槽を描いたものがありますが、浴室の行灯に大きく「火の用心」と描かれ、消火手段を持たない当時、火事は最も避けなければならないことでした。江戸から明治初年まで熱海は三日の行程でした。その後、新橋から横浜まで汽車が通り、熱海～小田原間にも軽便鉄道が整備され一日の行程となります。

熱海が飛躍的に発展するのは昭和九年十二月に開通した丹那トンネルのおかげです。宿泊客は一気に百万人の大台に乗りました。それに伴い、宿泊施設も大小あわせどんどん増加していきます。

先の大戦が終わった矢先、二度に渡り大火に見舞われ、結果として消火栓等の整備が急速に進みました。その後宿泊客数は増加の一途をたどりますが、宿泊客の安全確保のため、自動火災報知設備・屋内消火栓等が義務付けられ小規模旅館の多くが廃業することとなりました。その時期と前後し危険物を中心とした熱海市危険物安全協会、旅館を中心とした熱海市旅館ホテル等防火対策協議連絡会、熱海市防火管理者協議会の三団体が設立されました。

その後、平成12年4月13日に当時の三団体会長をはじめ皆様のご尽力により熱海市の防火・防災力の向上を目指して統合し、熱海市防火協会として誕生したものであります。本会は会員の方々のみならず、多くの市民の皆様への火災・災害時の意識の向上につとめているところです。また本市は多くの来遊客の一層の安全を図るため、宿泊施設を対象とした、夜間マニュアル訓練大会を20年以上にわたり実施しています。また今年度は幼年消防クラブ員も50名に増え、幼い頃に覚えた歌や事柄は大きくなっても忘れる事はなく、防火教育が重要であると考えて花火教室など幅広い活動をしております。本年度も事業所における防火・防災に力を入れ地域の安全はもとより来遊客の安全・安心の確保も重要であると考えています。

結びに熱海市の魅力はなんといっても豊かな自然、温暖な気候、人々に愛される海、クオリティの高いグルメに癒しの温泉。他にも意外な魅力の観光スポットやアクティビティが充実しています。また江戸時代から多くの著名人に愛された熱海温泉、県内の危険物安全協会の皆さまも是非お越し下さい。



平成26年危険物関係の主な通知

参照資料：(一財) 全国危険物安全協会保安講習テキスト（H27年版）

1 化学工場における点検・保守等の作業中の事故防止の徹底について

(平成26年1月10日 消防危第7号・消防特第4号)

石油コンビナート等特別防災区域内において、熱交換器のメンテナンス中に爆発事故が発生し、死傷者が出たことから、同種事故の再発防止のための留意事項が示された。

2 マグネシウム等の水による消火が適さない物質を取り扱う事業所に係る防火対策の徹底について

(平成26年5月14日 消防危第129号)

マグネシウム等の水による消火が適さない物質を取り扱う作業所で火災が発生し、8名の負傷者が発生した他、鎮圧までに長時間を要したことから、当面はマグネシウム等の水による消火が適さない物質を取り扱う事業所（危険物施設）等に対して、下記の事項に留意の上、防火安全対策の更なる徹底を図ることとされた。

① 出火防止対策の徹底

マグネシウム等の水による消火が適さない物質を取り扱っている事業所では、当該物質の近傍における火気の使用や、水又は高温物との接触がないことを徹底するとともに、換気を適切に行う等出火防止対策の徹底を図られたいこと。

② 初期消火体制等の再確認

マグネシウム等の水による消火が適さない物質から出火した場合、放水による消火ではなく、乾燥砂、金属火災用消火剤等を用いた迅速な初期消火が必要であり、また、消防機関への通報も重要であることから、これらの応急対応が適切に行われる体制が構築されていることの再確認を行われたいこと。

3 平成26年度危険物事故防止アクションプランの取組について

(平成26年5月16日 消防危第131号)

危険物等事故防止安全憲章や石油コンビナート等における災害防止対策検討関係省庁連絡会議報告書で提案されている取組事項を確実に実施していくことを主眼に置きつつ、引き続き地震・津波対策の推進を図る観点から、26年度も危険物等事故防止対策情報連絡会を開催し、関係団体・機関が取り組むための重点事項を定め、官民一体となった事故防止対策を自主的かつ積極的に推進することとされた。

4 特定屋外タンク貯蔵所のうち旧法タンクの保安検査等における定点測定法による測定結果の取扱いについて

(平成26年5月27日 消防危第146号)

特定屋外タンク貯蔵所保安検査において、「危険物規制事務に関する執務資料（屋外タ

ンク貯蔵所及び一般取扱所関係)の送付について」(平成11年6月15日付消防危第58号)(以下「58号通知」という。)に示されている「危険物の規制に関する政令及び消防法施行令の一部を改正する政令等の施行について」(昭和52年3月30日付消防危第56号)の定点測定法を実施した場合の測定結果の取扱いでは、底部板の腐食による流出事故の潜在的な危険性を有しており、十分な安全性を確保できないことが判明し、58号通知の見直しが必要であるとされたことから、旧法タンクの保安検査等における定点測定法を実施した場合の測定結果の取扱いについての運用が示された。

5 三菱マテリアル(株)四日市工場爆発事故を踏まえた保守・点検時等の事故防止に係る留意事項について

(平成26年6月26日 消防危第174号・消防特第134号)

三重県四日市市の三菱マテリアル(株)四日市工場爆発事故を受け、同社の事故調査委員会から最終報告書が公表されるとともに、危険物保安技術協会の「危険物施設の保守・点検時の事故防止に係る検討会」においても、当該事故の分析及び同種事故防止対策が検討され、最終報告が取りまとめられた。

これらを踏まえ、当該事故の直接の原因となった物質に係る留意事項とともに、非定常作業時に予期せぬ危険な反応等により災害の発生の恐れがある場合の留意事項が取りまとめられた。

6 「ハロン消火剤を用いるハロゲン化物消火設備・機器の使用抑制等について」の一部改正について

(平成26年11月13日 消防予第466号・消防危第261号)

ハロゲン化物消火設備・機器に使用される消火剤のうち、ハロン2402、ハロン1211及びハロン1301(以下「ハロン消火剤」という。)の取扱いについては、「ハロン消火剤を用いるハロゲン化物消火設備・機器の使用抑制等について」(平成13年5月16日付消防予第155号、消防危第61号。以下「155号通知」という。)等により運用されているところである。155号通知ではクリティカルユース(必要不可欠な分野における使用)について、判断基準とともにそれに基づき判断を行った場合の使用用途の種類を別表1に示しているが、別表1に示された使用用途の種類に該当しても同表中の用途例の名称と一致しないことを理由に、ハロン消火剤の使用が認められない事例等があることから、別表1の用途例の明確化及び細分化を行い、クリティカルユースの当否の判断をより適切にするため、155号通知が一部改正された。

また、ハロン消火剤及びその他のガス系消火剤の設置状況をみると、クリティカルユースに該当する場合であってもハロン以外のガス系消火剤を用いた消火設備が設置されている例が散見されるが、その理由として、ハロン消火剤の生産全廃により、ハロン消火剤の使用が全ての用途で禁止されているとの誤解や、ハロン消火剤の設置後、安定した供給が得られないと誤解されていること等の状況を踏まえ、155号通知で示したクリティカルユースの趣旨を再周知し、ハロン消火剤の適正な利用の徹底を図ることとされた。

平成27年度危険物事故防止アクションプラン

危険物施設等における事故防止対策については、「危険物事故防止の推進について」（平成15年5月30日付消防危第56号）に基づき、「危険物等事故防止対策情報連絡会」（以下、「連絡会」という。）を設け、毎年度「危険物事故防止アクションプラン」を策定し、官民一体となった事故防止対策を推進している。

1 危険物事故防止に関する重点項目

危険物施設における事故による死傷者の絶無を図り、かつ、事故件数を減少させるためには、「業種を超えた事故の情報の共有」を図るとともに、事業者が「危険物等事故防止安全憲章」及び「石油コンビナート等における災害防止対策検討関係省庁連絡会議報告書」の内容や東日本大震災の状況を踏まえ、自らの事態、体制等に応じた安全確保方策を確立することが重要であることに鑑み、次の事項を重点として事故防止対策を講ずる必要がある。

○保安教育の充実による人材育成・技術の伝承

装置の設計思想及びマニュアルの手順の背景にある原理原則の理解（know-why）の促進によるリスクアセスメントや、リスクに気づく感性のある人材、事故を見据えた設備等の定期点検及び日常点検を行う人材、安全推進の中核となる人材等を計画的に育成するため、保安教育を充実させるとともに、保安に関する知識・技術の伝承を徹底するため、過去の事故事例や良好事例の共有、実効性が見込まれるそれらの活用方策の確立、その他火災等の模擬体験、外部機関を活用した教育等を行うことが重要。

○想定される全てのリスクに対する適時・適切な取組

社内外の事故情報や安全対策情報を収集し保安対策に活用するとともに、コミュニケーションや情報共有を通じて、運転部門、保全部門、設計部門等の各部門間における連携を強化することにより、適時・適切な運転、保全等を図ることが重要。

また、現場における適切な安全管理の枠組の構築、さらには、非定常作業時、設備等の経年劣化も踏まえた点検、整備時等をも想定したリスクアセスメントを適時徹底して行い、リスクに対して適切に対応するとともに、残存リスクの認識とそれらに対する適切なマニュアルや体制を整備し、危険物の流出事故等を未然に防ぐことが重要。

○企業全体の安全確保に向けた体制作り

経営層が協力会社も含めた現場とのコミュニケーションを強化し、現場作業員からの

情報を積極的に収集するとともに、保安に対する強い意識を持ち、安全優先の方針を社内に発信することにより、現場で必要とされる安全確保方策が適切に実施される体制を整備することが重要。

また、ヒヤリハット事例等の検討、必要に応じて第三者による客観的な評価や社外との情報交換等を活用することにより、多角的かつ継続的に安全確保方策の充実に努めることが重要。

○地震・津波対策の推進

地震想定や津波想定を踏まえたハード面及びソフト面双方における地震・津波対策の再検証を行うとともに、被害を最小限にするため、また、被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等を適切に実施することができるよう、平常時から、事前計画の作成や訓練等を通じた習熟度の向上を図ることが重要。

2 危険物に係る事故の傾向

平成6年から平成25年までに、危険物施設において発生した火災及び流出事故の傾向について分析を実施した結果、別紙1のような傾向が見られることから、これらの傾向に十分留意し、有効と思われる対策を継続的に進めていくことが重要である。

(別紙1の一部を掲載)

平成25年中の事故分析

(火災事故原因分析)

- ・ 「施設別」の事故原因、発生個所等の傾向を分析すると、以下の傾向がみられる。

製造所では、事故の主原因は「維持管理不十分」が最も多く、「操作未実施」「操作確認不十分」など人的要因によるものが約6割を占める。発生個所は「その他」を除くと「容器本体」「塔槽類本体」が多い。

給油取扱所では、事故の主原因は「誤操作」が最も多く、「維持管理不十分」「監視不十分」がそれに続く。発生個所は「車両の給油口」が最多である。

一般取扱所では、事故の主原因は「維持管理不十分」が最も多く、「操作確認不十分」がそれに続く。発生個所は「その他」を除くと「容器本体」「配線、スイッチ類」「管継手(ダクト含む)」等が多い。施設装置では「その他」を除くと「ボイラー施設」「冷間圧延装置」等が多い。

- ・ 「業態別」での事故発生傾向を分析すると、製造所では「化学工業」が最も多く、「石油製品・石炭製品製造業」がそれに続く。給油取扱所では「卸売・小売業」が大部分を占める。一般取扱所では「化学工業」が最多で、「輸送用機械器具製造業」「鉄鋼業」等がそれに続く。

(流出事故原因分析)

- ・ 「施設別」の事故原因、発生個所等の傾向を分析すると、以下の傾向がみられる。

製造所では、事故の主原因は「腐食疲労等劣化」が最多で、「維持管理不十分」「操作確認不十分」がそれに続く。発生個所は「その他の附属配管等」「その他の機器等本体」「ドレンバルブ」、「パッキング」及び「ベント管、ブロー管、放出管」が複数報告されている。

屋外タンク貯蔵所／地下タンク貯蔵所での事故主原因はいずれも「腐食疲労等劣化」が最多で、「破損」がそれに次いで多い。発生個所は「その他の附属配管」が最多である。

移動タンク貯蔵所における事故の主原因は「交通事故」で、「操作確認不十分」等がそれに続く。発生個所は「給油（注油）ノズル」「給油（注油）ホース」が多い。

給油取扱所での事故主原因は「腐食疲労等劣化」が最多で、「監視不十分」「操作確認不十分」がそれに続く。発生個所は「給油（注油）ノズル」「その他の附属配管等」「給油管等」が多数を占める。

一般取扱所の事故主原因は「腐食疲労等劣化」が最多で「操作確認不十分」「維持管理不十分」「監視不十分」「破損」等がそれに続く。発生個所は「その他の附属配管等」が最多で、「管継手（ダクトを含む）」がそれに続く。

- ・ 「業態別」での事故発生傾向を分析すると、製造所では「化学工業」「石油製品・石炭製品製造業」が多い。屋外タンク貯蔵所では「石油製品・石炭製品製造業」が最多である。

地下タンク貯蔵所では「医療・福祉業」「飲食店・宿泊業」「その他（サービス業を含む）」が多い。移動タンク貯蔵所／給油取扱所は「卸売・小売業」「運輸業」が多い。一般取扱所では「電気・ガス・熱供給・水道業」「化学工業」「石油製品・石炭製品製造業」が多い。

3 危険物事故防止のための取組事例（次の事項に係る事例を紹介）

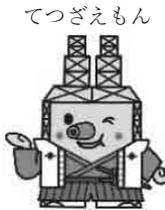
- 業種を超えた事故の情報の共有：3事例
- 保安教育による人材育成・技術の伝承：10事例
- リスクに応じた適切な取組：8事例
- 企業全体の安全確保に向けた体制作り：8事例
- 地震・津波対策の推進：6事例

4 団体・機関別の実施要領

（省略）



韮山反射炉 世界遺産 パブリックビューイング (Public viewing) に参加して



田方防火協会 会長

松本 昭二

2015年7月5日の夜、韮山反射炉の世界遺産登録を願うパブリックビューイング会場が近かったため、その会場に参加して来ました。

韮山反射炉も近くて何度も行ったし、世界遺産登録にもさほど関心もなかったが、7月4日にイコモス「国際記念物遺跡会議・International Council on Monuments and sites」の登録審査の結論が韓国の登録反対で5日に延期され、当日は時間もとれず「パブリックビューイング」に参加したこともなかったため〈面白半分・冷やかし半分〉の物見遊山で参加しました。

受付時間が19時なので会場の「韮山時代劇場」に行ったが来場者はまばらで、テレビや新聞社の報道陣ばかりで雰囲気は《いまいち》でした。まわりは関係者ばかりで居心地も悪く、展示してある写真やパネル説明を見て時間をつぶし、発表の21時をひたすら待った……参加した無意味さを反省しながら……。



韮山反射炉全景

21時頃になって会場もほぼ満席（700人位）になり、少しずつ発表の時間に向かって「セレモニー」が開始された。イコモスの発表が更に延期され22時になると告げられたが、参加者へのインタビューや写真撮影などで賑やかになり雰囲気は盛り上がってきた。

登録推進委員会の挨拶、現状の説明・昨年登録された「富岡製糸場」の登録認定を審査する「イコモス」の情景、富岡製糸場のパブリックビューイングのビデオ映像、今度の韮山反射炉を構成資産に含む「明治日本の産業革命遺産の他の施設」の説明、そして登録認定を祈願する「ガンパロー」の三唱。

正式発表の時間になり、正面の大画面に「イコモス審議会の模様」が映し出され、委員長の一挙手一頭足を全員が大画面を食い入るように真剣に見つめ、会場内は声ひとつなく静寂につつまれた。

生中継「Live」である。審議の様子は同時放映され、「英語とフランス語」で放映されている、そんな模様を会場内の通訳が同時通訳する。少し、まどろっこく感じながらも判決を待つ。

22時10分頃にイコモス委員長から、イコモスの評価基準の説明があり、韮山反射炉やその他の施設は160年の歴史があり、本物であり保存性も今後の維持管理にも問題ない……と述べ、委員長が机上の「木槌」を叩いて承認される様子が画面に映し出され正式に登録承認された。



反射炉内部



登録決定の瞬間の「歓声」

その瞬間、大画面に固唾を飲んで見つめていた参加者は、大歓声と太鼓や音楽が鳴り響き「万歳・万歳」の大合唱……!!。

比較的《冷やかだった》私も照れくさくもあったが、一生に一度と思えるこの歴史的瞬間に立ち会えたことに感銘し、気持ちは皆と同じ喜びを分かち合えた。

伊豆の国市長と実行委員長の挨拶があり、全員で「万歳三唱」をやり、用意された「踊」「お囃子」「祝旗」「祝い酒」「祝団扇」が配られ、深夜までその興奮は続いた。

葦山反射炉の歴史や機能は省くが、世界遺産に登録された事は地元の人たちには素晴らしい出来事であるが、街並みや道路整備、景観などを維持しなければならない責務が生じた。

皆が一体感をもって後世に大切に引き継ぐには、地域住民が自分の財産のつもりで関心を持ち続ける必要がある。

さもないと一時的な出来事として終わってしまう。

地域社会の連帯感が希釈し、自分中心の考えになりがちのいま、これをキッカケに社会で生活することのヒントになればいい。そんな思いが頭をよぎった。

観光資源として世界に知られるようになった今、金もかかるがこの反射炉を作り上げた当時の背景と叡智そしてその活力に敬服する。

あたかも、NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の時代とダブリ、当時の日本人のエネルギーの凄さと、建国の思想と結果に驚嘆する。そこに男のロマンを感じます。

少し、斜に見ていた「パブリックビューイング」であったが、登録決定の臨場感を皆と分かち合え、無邪気にそして陽気に喜びを表現出来た自分に褒美です。

☆☆☆ 県内危険物施設の事故状況 ☆☆☆

(1) 危険物に係る火災等の事故発生件数

(年次別)

区 分	22 年		23 年		24 年		25 年		26 年	
	県	全国								
爆 発	0	179	0	189	1	198	1	188	0	203
火 災	3		2		2		3			
流出・漏洩	3	357	6	396	3	375	8	376	12	396
計	6	536	8	585	6	573	12	564	15	599

(2) 平成26年の県内の危険物施設での事故発生状況

(平成26年1月～12月)

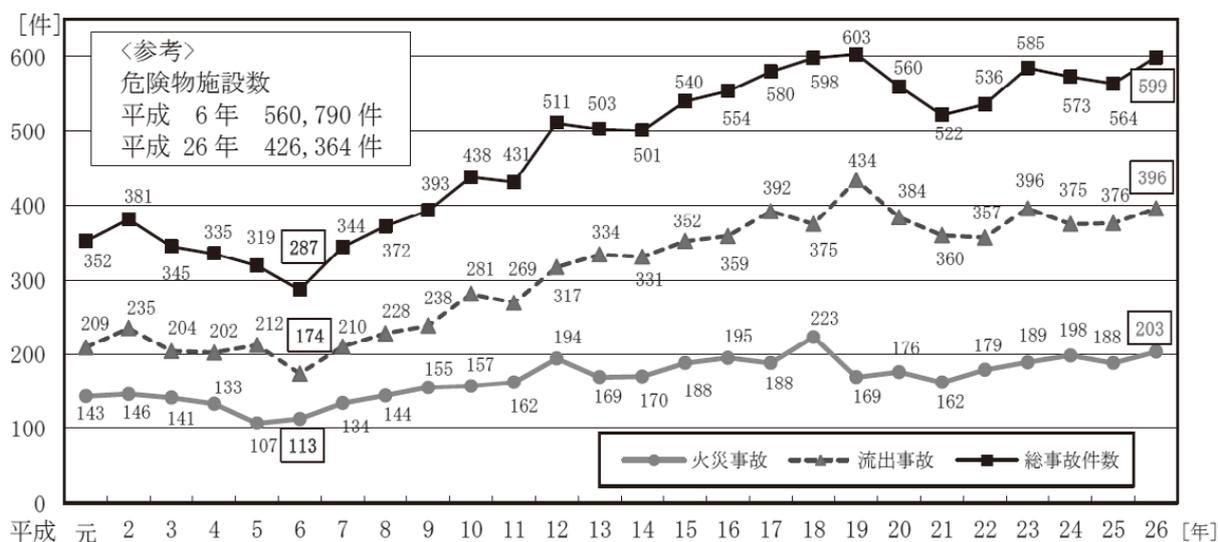
発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事 故 概 要	主原因	人的被害
H26.2.17	取扱所	流出	屋外タンク貯蔵所から一般取扱所の屋上にあるタンクに送油中にオーバーフローし、雨水系統に流出した。	故障	なし
H26.2.17	その他	流出	海上に油の流出。岸壁より100m程度の範囲に浮遊。	維持管理不十分	なし
H26.3.17	取扱所	流出	バルブの閉め忘れによるオイルの漏洩。	操作確認不十分	なし
H26.4.5	その他	火災	BDF精製装置から出火	維持管理不十分	なし
H26.6.10	取扱所	流出	固定注油設備からミニローリーへ灯油を過剰に注入。250ℓが排水溝、敷地外に流出。	操作確認不十分	なし
H26.6.25	貯蔵所	流出	A重油が150ℓ漏えいし、排水溝、側溝を通じて河川、海上に流出。	維持管理不十分	なし
H26.7.27	取扱所	火災	ボイラー周囲の配管から漏れた重油に引火	腐食疲労等劣化	なし
H26.8.1	駅	流出	駅構内のゴミ箱に塩酸がこぼれた	維持管理不十分	なし
H26.8.26	貯蔵所	流出	タンク切り替えバルブの操作を行わず。予定外の地下タンクに送油してしまい流出した	操作確認不十分	なし
H26.9.25	その他	流出	クリーニング店で使用するボイラーの燃料タンクから灯油の漏えい	維持管理不十分	なし

発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事故概要	主原因	人的被害
H26.10.21	運搬	流出	トラック同士の衝突事故により軽油約400ℓが河川に流出	交通事故	なし
H26.11.19	その他(船)	流出	油輸送船のホース内の重油を回収しようとした際に海上に流出	操作確認不十分	なし
H26.11.25	その他	流出	少量危険物施設から河川に重油が漏洩	腐食疲労等劣化	なし
H26.12.9	一般取扱所	火災	危険物を反応させてインクの樹脂を製造する反応釜から出火		なし
H26.12.26	その他(工場)	流出	油圧設備を修理中に作動油が約300ℓが漏洩。	操作確認不十分	なし
事故 計 15件 (爆発0件、火災3件、流出12件)				死亡 0人 負傷 0人	

(資料：県消防保安課)

(参考 全国の事故発生件数の推移)

危険物施設における火災・流出事故発生件数の推移



(注) 事故発生件数の年別の傾向を把握するために、東日本大震災その他震度6弱以上(平成8年9月以前は震度6以上)の地震により発生した件数を除いています。

☆☆☆ ちよつとひといき ☆☆☆



ゆたかな国土をいつまでも

富士市防火協会 会長

鶴田 巖 一

健康のため妻とウォーキングに励んでいる。北に富士山を仰ぎ、ふもとには川が流れ、農業用水が行き渡り、(宅地開発が進んだとはいえ) まだ豊かな水田や畑が広がっているのを見るにつけ、つくづく富士市は水資源に恵まれた土地柄だと思う。私たちが祖先から受け継いできた風景の名残と言えるのだろうか、目にすると安らぎを覚えるのである。

また世界遺産や遺跡を訪れるのが楽しみで海外旅行に行くたびに、日本は水と土壌と緑に恵まれていることを実感させられる。南欧や北・南米でも、観光地から次の観光地へ移動する道中、目にするのは岩場、荒れ地や砂漠など緑に乏しい土地であることが多いように思う。

例えば「ナイルの賜物」と呼ばれたエジプトを訪れた時のこと。世界第二の大河といわれるナイル川も、中流域の川幅は狭いところでは百m強しかない。両岸から数百mの幅で農地や茂みがあるが、その先は赤茶けた砂漠が広がるばかりである(写真)。1970年にアスワンハイダムが完成して氾濫は過去のものとなり、電力開発も進んだが、地表から水分が蒸発するのに伴ってしみ出した塩分が増水期に洗い流されることも無くなり、農地が塩害に悩まされるようになったという。乾燥地域での灌漑農業の難しさを思わずにはいられない。

古代文明を育んだ大河流域にも劣らず水資源に恵まれた富士市の、そして日本のゆたかな国土の姿が、いつまでも続くことを祈りたい。そのために私たちができることは何だろうか。水が豊富ということは、風水害への備えが必要であることをも意味する。さらに地震・津波・火山噴火などに対する防災活動に力を注ぐとともに、地球温暖化を防止することも大切であろう。なるべく車を使わずに歩き、健康増進を図ることが、ささやかではあるが省資源・省エネを積み重ねることにもなるのだろうと思い、ウォーキングを続けている。



船上からナイル川中流域の左岸を望む

☆☆☆危険物安全協会連絡会だより☆☆☆



西部地区危険物安全協会連絡会

平成27年度西部地区危険物安全協会連絡会は、会員並びに幹事が各地区協会の改選又は異動により、メンバーも入れ替わりスタートしています。

退任されました会員や幹事の皆様には、長年に渡り当連絡会に貢献いただきました事に感謝申し上げます。

このたび、6月の総会におきまして、本会の名称が「静岡県西部地区危険物安全協会連絡会」となりましたので、県危連並びに東部・中部連絡会の皆様には引き続き御指導をお願いいたします。

さて、当連絡会管内においては、昨年度危険物に起因する大きな火災等の事故は発生しておりません。これもひとえに会員皆様の安全意識の向上や安全対策の活動に取り組んでいる結果だと思えます。

当連絡会の平成26年度主な事業については、6月6日(金)に県危連の宮澤事務局長並びに磐田市消防本部の栗倉消防長にご臨席を頂き総会を開催いたしました。

研修としましては、9月19日(金)に浜松市防火協会が主催しました、南海トラフ巨大地震についての講演を聴講しました。講師は、名古屋大学の福和伸夫教授で、参加した会員からは、改めて防災対策の重要性を認識することができ、地元でも是非開催をしたいとの反響がありました。

視察では、1月23日(金)に静岡市清水区の清水エル・エヌ・ジー(株)の液化天然ガス(LNG)袖師基地の視察を行い、その後、富士山本宮浅間大社で参拝し神殿において無災害の祈禱を受けました。

当連絡会は、今後も各協会相互に連絡協調を図り、より実りある連絡会としていく所存です。

平成26年度に実施した事業についての詳細については次のとおりです。

1 総会・会議関係

(1) 総会 平成26年6月6日(金)

オークラアクトシティホテル浜松で開催され、平成25年度事業、収支決算及び平成26年度事業計画案、収支予算案等について承認されました。

(2) 幹事会議

次のとおり3回の幹事会により、事業の円滑な推進や地区協会の発展を目的とした情報交換等を行いました。

- 第1回幹事会 平成26年5月7日(水) 於：浜松市消防局
- 第2回幹事会 平成26年8月22日(金) 於：浜松市消防局
- 第3回幹事会 平成27年2月13日(金) 於：浜松市消防局

(3) 連絡会議 平成26年11月25日(火)

オークラアクトシティホテルで連絡会議を開催、平成26年度の中間事業報告及び平成27年度の事業方針等について審議し、会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中、情報交換を行いました。

なお、当日には会場であるアクトシティ浜松の防災施設の見学も実施しました。



アクトシティ浜松地下のポンプ室見学



挨拶：鈴木裕司会長

2 研修会関係

(1) 会員・幹事研修会 平成26年9月19日(金) 於：ホテルコンコルド浜松

名古屋大学減災連携研究センター・福和伸夫教授による「総力で南海トラフ巨大地震を凌ぐ」の演題で、講演を聴講しました。



防災講演会「講師：福和伸夫 氏」

(2) 会員・幹事視察研修会 平成27年1月23日(金) 於：静岡市

清水エル・エヌ・ジー(株)において、液化天然ガス(LNG)袖師基地の防災体制及び供給設備等を視察、その後、富士山本宮浅間大社参拝と白糸の滝を視察しました。



LNGタンク前にて



富士宮「白糸の滝」

(3) 幹事研修会 平成26年8月22日(金) 於：浜松市消防局

各地区協から規制事務に関する事例について、情報交換を実施しました。



たまには推理もの三昧

御前崎市危険物安全協会 会長

野川修身

会報に寄稿するにあたり、何を書こうかと思案いたしました。趣味という趣味が無く思い立ちましたのが推理もの。趣味とまでいかないのですが、ある作家の作品がきっかけで好きになり、読書するにもテレビ番組を見るにしても推理ものやサスペンス関係が多いのです。その作者はコナン・ドイル、言わずと知れた名探偵シャーロック・ホームズの生みの親。小学校5、6年生の頃、図書室で借りて読み始め、面白さに全シリーズ読破したものです。それから推理ものにはまり、怪盗ルパンや江戸川乱歩の怪人20面相などのキャラクターなどにも惹かれ、いろいろ読んだり、ラジオで聞いたりしました。その当時、夏休みのテレビ特番で見たのが横溝正史の金田一耕助シリーズ、古谷一行や石坂浩二のはまり役の魅力と『犬神家の一族』で分かる通り、あのオドロオドロ感が不気味で見入ってしまいました。この原稿を書いているうちに、もう一度見たくなりDVDでも借りようかなと思っています。当時、気にはしていませんでしたが推理ものが流行っていたのでしょね。思い返せば、『うちのかみさんがね』のセリフがおもしろい刑事コロomboやアガサ・クリスティのテレビ放送が多かった気がします。



現在は、もっぱらテレビ主体で山村美紗の『赤い霊柩車シリーズ』、西村京太郎の鉄道サスペンスやその他の刑事ものをよく見えています。

そんな中、小説で唯一読み続けているものがあります。赤川次郎の杉原爽香シリーズです。赤川次郎といえば『三毛猫ホームズ』シリーズが有名です。自分も、最近亡くなられた愛川欣也さん演じる主人公が好きでした。爽香シリーズは、1988年9月発売以来、毎年一巻ずつ出ています。今年で27巻目、主人公の杉原が15歳から話が始まり、毎年1歳ずつ歳を取り、毎年事件に巻き込まれる推理小説です。今年で主人公は42歳になります。普通の推理小説と違い、主人公の背景描写が面白い作品です。普通は、事件主体で主人公の交友関係や家族のことなどストーリーには出てこないものです。しかし、この爽香シリーズは家族、友人、仕事先、交友関係など普段の生活の中に殺人事件の要素が入ってくるというもので親近感がわいて読んでいます。また主人公の成長とともに1年に1冊というのが良いのかもしれない。『渡る世間は鬼ばかり』の推理小説版といったところでしょうか。



主人公は小説の中で高校を卒業し、就職し、結婚をする。兄が離婚の危機だったり、恩師の娘が女優になったり、主人公を取り巻く周りの人間模様も描かれ、はたまた殺し屋の知り合いができたりと奇想天外で読み応えがあります。発刊される限りは読み続けると思います。

取り留めのない原稿になりましたが最後に、ジャンルを問わず本を読むことは想像力を掻き立てて良い事だと思っています。

皆様はどのような本をお読みですか？



時間をやりくりして

菊川市危険物安全協会 会長

平松 敏 和

私は、菊川市でガソリンスタンドを二店舗経営しております。

私のような小規模事業所ですとなかなか休日が取れません。去年は、二日続けて休むことが一度もできませんでした。それでも「人並みに旅行がしたい」、「遠くへ行ってみたい」、その思いは普通一般の人よりもずっと強いと思います。それでもなんとか時間をやりくりして、休日の前日、夕方仕事が終わってから強行軍で旅に出ます。

私は、古代史に興味があります。古事記や日本書紀の時代です。ただし、この二つの記紀は、どの歴史書もそうであるように、当時の権力者、勝ち組の都合のいいように書かれていることが多分にあるように思います。私は常に敗者の方に心を動かされます。この時代でいうと蘇我氏です。蘇我氏に思いを寄せて奈良に旅をします。

「飛鳥寺」、蘇我氏ゆかりのこのお寺が、私の一番のお気に入りです。



本殿に入るとすぐそこに本尊の飛鳥大仏があります。この大仏様は、建立以来同じ場所に安置されています。かつて、聖徳太子や推古天皇が拝んだであろうその場所で私たちもその大仏様を拝むことができます。また、飛鳥寺境内の外れには、蘇我入鹿の首塚があります。乙巳の変で殺された入鹿の首が蘇我氏の邸宅のあった甘樫の丘から見えるようここに晒されたのではないかと思います。その首塚から遊歩道を10分程歩くと飛鳥板蓋宮跡があります。入鹿殺害「乙巳の変」の舞台です。

この事件について、私たちが小学生のとき教科書で習ったように、中大兄皇子がヒーロー、入鹿は悪者という通説が千三百年以上続いていますが、本当はまったく違った背景があったのかもしれない。

奈良には、この「乙巳の変」のような本当はどうだったのかわからない歴史がたくさんあり、魅力的であります。

私は、これからも時間を見つけて、奈良を何度も旅したいと思います。

中部地区危険物安全協会連絡会



無事故へと 気持ち集中 はっけよい

FIFA女子ワールドカップカナダ大会は、日本がアメリカに敗れて大会連覇はならず、準優勝となりました。宮間キャプテンは4年間を振り返り、負けた悔しさの中で「メンバーは最高の仲間だった」と仲間を称えていました。佐々木監督は応援してもらった多くの人に感謝の気持ちを伝えた後、「選手たちを誇りに思う」と言っています。周囲への感謝を忘れず仲間を信頼し、前を向くチームとしての結束力を感じさせるひと言、なでしこの強さを感じることができ、これからも強いなでしこであり続けると誰もが思ったでしょう。

さて、平成26年度、危険物施設の火災事故は人的要因の流出事故は老朽化が主要因との報告です。事故ゼロの強い組織にするために、改善計画立案、保守管理体制の整備を実施することを主導する、まさに佐々木監督の役割、更に改善計画の実行、日々の点検、異状の早期発見、早期対応を主導する、まさに宮間キャプテンの役割が必要です。社員一人ひとりを信頼し会社

というチームを先導する管理体制作りの構築をお願いしたいです。

当連絡会は、地区協会間で情報共有化、連携強化に努め、事故ゼロ・安心安全な状態の維持、向上の役割を果たしていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしく申し上げます。

【平成26年度の主な事業】

幹事会

各地区協会の事務局員が参加し、協会事業の円滑な推進等を模索し、また、危険物規制上の意見交換や研修会等の情報共有を積極的に行うことにより、危険物施設の災害や違反防止を図っています。

【第1回幹事会】

- 〈日程〉 平成26年4月25日(金)
- 〈会場〉 牧之原市相良消防本部
- 〈議題〉 平成25年度事業報告、収入支出決算報告
平成26年度事業計画、収入支出予算
役員選出輪番
危険物規制事務に関する情報交換
講習会等の情報提供 他

【第2回幹事会】

- 〈日 程〉 平成26年11月28日(金)
〈会 場〉 静岡市消防局
〈議 題〉 平成26年度事業状況、予算執行状況報告
平成27年度事業計画
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会等の表彰枠の調整
役員選出輪番
視察研修会の情報提供
その他検討事項



幹事会風景

平成26年度総会

- 〈日 程〉 平成26年6月20日(金)
〈会 場〉 藤枝市：小杉苑
〈来 賓〉 (一財) 静岡県消防試験研究センター静岡支部 支部長 望月 正 氏
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 事務局長 宮澤武久 氏
〈議 題〉 平成25年度事業報告、収入支出決算報告及び監査報告
平成26年度事業計画、収入支出予算
会則の改正
役員の改選



総会で挨拶する仲田勝利会長



来賓、役員（会員）及び事務局の皆さん

新会長就任

平成26年度総会で役員を選解任が行われ、当連絡会の会長の仲田勝利様（島田・北榛原地区危険物安全協会）が退任され松田司様（吉田榛原危険物安全協会）が就任されました。

中危連会長に就任しました松田です。よろしくお願ひします。危険物施設の安全を守るためには、日々の点検や施設の維持管理、教育などを確実に実行していくことが大切です。

そのために、当連絡会は、地区協会との連携を強化して、安全対策に関する情報の共有化に取り組み、安全状態の維持・向上に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。



会長就任の挨拶をする松田司新会長

☆☆☆ ちよつとひといき ☆☆☆



「幸せの黄色い布」

(株)大和屋商店 代表取締役
静岡市防災協会 会長

糠谷 徳昭

よくマスコミ等はもとより、街中でも「ながらスマホ」の危険性を目にします。駅前におりますと、こう言った事を実際に目にする事も多く、通勤・通学途上で、携帯等の端末機器を操作しながら、自転車の運転をしている若い方達を見ると、危険性もさることながら、曲芸に近いその行動に、「しっかり運転し、早くついて、ゆっくり操作すれば良いのに。」と思う事と、事故でも起こしはしないかという心配が、過去は多々ありました。

こういった端末機器の発達と普及は、今更語るまでもありませんが、これらが無かった時代にはどうしていたのかと思うのと、今のスピード社会で、何か忘れてたり、失ったりしている物はないかと思えます。

当社は、布の小売業をしております。お客様は、プロの方も多のですが、小学生をはじめ学生さんも多く御来店頂きます。いまでこそ、ほとんどの方が携帯電話をお持ちで、取り寄せの商品が届くとそちらに電話しますが、今から僅か15年位前は、当然固定電話に掛けていました。

学生さんの中には、

「お母さんが電話にでると、手芸ばかりしてないで、勉強しなさいと怒られるから電話しないで下さい。」

という学生さんも多くいらっしゃいました。その為、入荷を知らせる手段として、店頭ワゴンに「黄色いハンカチ」ならぬ黄色い布を縛り付けて知らせておりました。このサービスは好評で、あなたは黄色、あなたは赤と次第に人数に伴い色数が増えてきました。

そうしている内に、

「あのワゴンに結んで在る布は、商売のマジナイか何かか？」と聞かれるお客様もありましたが、まさか「秘密の通信手段です。」ともいえず、「そうですよ。」と答えておりました。

そうして御利用いただいた学生さんも、今は職場に、家庭に元気でおられる事と思い、願ってもおります。

黄色い布を、帰宅途上に発見し、店に入って来る。お買い上げいただいた後に嬉しそうに帰る学生さん達を相手に、こちらも楽しい商売を多くさせて頂きました。まさか御自分のお子さんには「手芸ばかりしないで、勉強しなさい。」とは言わない事も願っております。

インターネット上では、夕方までの注文は、翌日着くというスピードサービスが当たり前の時代です。そんなスピードに乗り遅れないよう、またアナログの温かさも忘れないよう苦慮を重ねる毎日です。

皆さまにおかれましても、潤いある毎日が続きますよう心よりお祈り申し上げます。

☆☆☆ ちよつとひといき ☆☆☆



チャレンジ!! “富士登山”

島田・北榛原地区危険物安全協会

会長 寶勝智貴

皆さんは『富士山』に登られたことがあるでしょうか？『富士山』は静岡県人たるもの、いや日本人であれば一生に一度は頂上を極めたいと思う山ではないかと思えます。環境省の調査報告によりますと、平成26年夏期（7月1日から9月14日まで）の富士山登山者数は28万5千人にもなるそうです。

かくいう私も「いつかは富士山」と思いつつ無駄に歳を重ねてしまい、人生の折り返し地点を過ぎた今、「体力のあるうちに登っておくか」と思い立ったわけでありました。そうは言ってもすぐに登れる技能がある訳でもなく、まずは近所の低山ハイキングを行い“山歩き”の練習から始めた次第です。しかし、練習ばかりじゃつまらないので「敵を知るのも必要」とばかりに、どこまで登れるか「とにかく行ってみよう」と今年トライしてみることにしました。

さてさて、あまり乗り気でない家族を道連れに、水ヶ塚駐車場でバスに乗り換え、富士宮口五合目に到着。山頂付近の雲は気になりますが、まずまずの天候です。『富士山保全協力金』を支払い、準備運動と高度順化を行って、いざ登山開始!!

六合目、新七合目くらいまでは比較的傾斜もきつなく「まあ、登れるな」という感覚で、「これなら八合目も楽勝、楽勝」と、宝永山をご眼下に見下ろし、たどりついた次のポイントは、あれれ“元祖七合目”。せめて七合五勺くらいの名前にしてくれたら・・・などと思いつつ、八合目を目指すも、ここからは傾斜もぐっときつくなり、酸素も薄くなっているせいか息もあがってきます。何度も足を止め、他のグループの子供やお年寄りにも抜かれながら、なんとか八合目に到着しました。



いざスタート地点に立つ



宝永山をバックに1枚

しかし、“優しい顔の”富士山もここまで。八合目を過ぎると一気に天候が悪化してきました。急激に気温が下がり、強風が吹き、大粒の雨も降りだしました。もちろん傾斜もさらにきつくなっており、かなり気を付けて登らないと風にあおられ転倒しそうです。まさに「手すりが欲しい」という状況です。目指す方向を確認しようと頂上方向を見上げるも、霧がかかっていて先が全然見えませんでした。

“厳しい顔の”富士山を見せられつつも、やっとの思いで九合目に到着。下山している人に伺うと「山頂も同様の天候」との事。富士登山初心者の私は「これ以上は難しいかも?」「山頂に着いても眺望は望めなさそうだし…」ということで登頂を断念。

富士登山初挑戦は、九合目で終了。「次こそは登頂!!」の想いを胸に、あえなく下山となりました。天気ばかりは人間の力でどうにかなるものではなく、仕方ありません。元祖七合目付近まで下りてくると天気も良くなり（と言うかここはずっと良い天気だったと思います）、富士宮口五合目にたどり着いたときは、ほっとすると同時に一気に疲れが出てきて、売店でお土産をチェックするのも忘れ、早々に退散したのであります。



初富士山は九合目まで到達

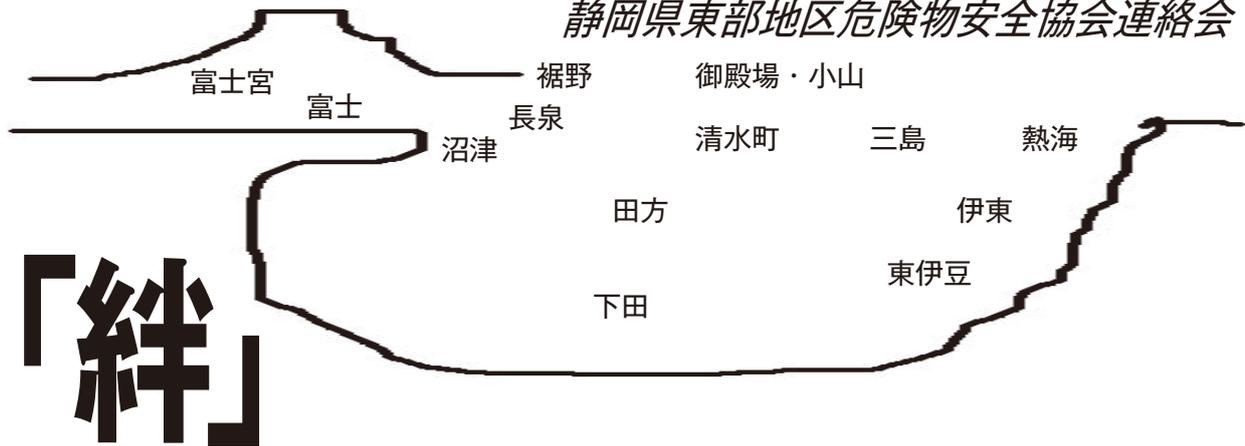


富士山保全協力金を払った証

土産は買えなかったものの、両足にはしっかりと筋肉痛という“おみやげ”がついてきて、その後数日に渡り苦しむことになりました。うちの子供達は当日こそ疲れてぐったりしていたものの、翌日には回復し元気いっぱい。歳の差を実感した次第です（やはり若いうちに登っておくべきです）。

次回には、登頂報告が出来ることを願って、更なる精進に努めます。

静岡県東部地区危険物安全協会連絡会



平成27年度東部地区危険物安全協会連絡会も、例年どおり役員及び幹事が人事異動に伴い入れ替わり、新メンバーでスタートしました。永年、当連絡会に貢献していただいた方々にはこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、本年度最初の事業は恒例により、東危連幹事会を6月5日に沼津市のFDIバンケットホールにて開催しました。人事異動によりメンバーが入れ替わりましたので、初めに自己紹介を行い、東危連総会の打ち合わせ等を行いました。その後、最近の危険物規制事務等に関する情報交換や東危連の事業等についても話し合い、おおいに親睦を深めることができました。

6月15日には、沼津リバーサイドホテルにて、正副会長会議を開催し、新副会長の鶴田様のご紹介後、通常総会における行動等の打合せを行いました。

また、6月19日、20日には、沼津リバーサイドホテルにて、県危連の宮澤常務理事をお招きし、通常総会を開催しました。中島会長のあいさつの後、各議題について熱心に審議していただきました。

研修視察は、沼津市の富士通株式会社沼津工場様のご厚意により、同社の屋内施設の「池田記念館」、屋外施設の危険物を貯蔵する「コンボルトタンク」を視察させていただきました。

「池田記念館」では、スーパーコンピューター京（ケイ）及び同社の電話交換機で使用していたリレーを活用し、国産初のリレー式商用計算機として1959年（昭和34年）に製造されたものを拝見いたしました。この計算機はシステムを復元し、現在も稼働しています。実際、今の計算機の100分の1の処理能力しかないが、動かしたときは皆様から歓声が上がるといって感動しました。

また、「コンボルトタンク」はアメリカ製で、タンクの全てをコンクリートで覆われたものになり、防油堤を有しない構造となっているのが特徴です。県内では唯一設置されているため、皆様非常に興味深く、説明等に耳を傾けていました。

研修会の終了後は、沼津市の沼津リバーサイドホテルで懇親会を開催しました。会長、副会長をはじめ、ご来賓の方々や、地区協会の会長、幹事など多くの方が参加し、フルートの生演奏を聴きながら、和やかに意見交換を行う事が出来ました。

以下に本年度の事業を紹介します。

1 第1回幹事会

- (1)月 日 平成27年6月5日(金)
- (2)場 所 沼津市 FDIバンケットホール
- (3)議 題
 - ア 平成26年度事業報告及び決算報告
 - イ 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)

- ウ 危険物事務事業等に関する情報交換等
- エ 静岡県危険物安全協会連合会等の表彰者の調整
- オ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の役割等の調整その他

2 正副会長会議

- (1)月 日 平成27年 6月15日(月)
- (2)場 所 沼津市 沼津リバーサイドホテル
- (3)議 題
 - ア 平成26年度事業報告及び決算報告
 - イ 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 - ウ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の調整

3 平成27年度(第37回)通常総会

- (1)月 日 平成27年 6月19日(金)
- (2)場 所 沼津市 沼津リバーサイドホテル
- (3)議 題
 - ア 平成26年度事業報告、決算報告及び監査報告
 - イ 平成27年度事業報告及び収支予算



平成27年度(第37回)静岡県東部地区危険物安全協会連絡会通常総会

4 視察研修

- (1)月 日 平成27年 6月19日(金)
- (2)場 所 富士通株式会社沼津工場
- (3)研 修
 - ア 池田記念館の見学
 - イ コンボルトタンクの見学





富士通株式会社沼津工場

5 幹事研修会

- (1)月 日 平成27年11月27日(金)
- (2)場 所 沼津市北消防署
- (3)内 容 常葉大学小村隆史准教授による講演

6 第2回幹事会

- (1)月 日 平成28年3月4日(金)
- (2)場 所 沼津市 FDIバンケットホール
- (3)議 題
 - ア 平成27年度事業報告及び収支決算見込み報告
 - イ 役員改選について
 - ウ 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 - エ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の役割等の調整その他
 - オ 危険物事務事業等に関する情報交換等

無事故へと

気持ち集中

はっけよい

☆☆☆ ちよつとひといき ☆☆☆



私のストレス解消

東伊豆町危険物安全協会

副会長 稲葉 智之

私の住んでいる町は、スポーツを日本一楽しめる町づくりを推進しています。

なかでも町民ゴルフ大会が盛んで年2回開催し、現在は50回を超えるほどになっています。

多い時には357名の参加者を集めた大会もあり、そのような中、第10回大会から4大会続けて参加者全員の平均スコアが100を切り、第13回大会では96.4と過去最高をマークしたことを機に町が勝手に「ゴルフ日本一の町」を宣言しました。

そんな町に住んでいるためか、私もいつしかゴルフを行うようになり、はじめは会社の同僚に教えてもらいながら始めました。

始めた当初はなかなかうまくいかず、100を切ることが出来ませんでした。練習を重ねていくうち100を切ることができるようになり、そこから急速にゴルフにはまっていきました。

ゴルフは人生と同じで、うまくいくときもあれば、なかなか思うようにいかないときもあります（いかないときの方が圧倒的に多いのですが）が反省と勉強を繰り返し、仕事同様に日々努力を行っています。



稲取ゴルフクラブ・全景



ナイスショット

またゴルフを通じて勉強させてもらうことも多く、例えば仕事関係以外にも年配の方や若者など多くの人と出会えることができ、その方々と話をする中でちょっとした会話の中に「ハッ」と気づかされることや、参考になることが有り多くのことを学ばしてもらっています。

その他に夢中になっている理由として、誰かが言っていましたがゴルフは地球上でもっともボールを遠くに飛ばせるスポーツだと、確かにドライバーでナイスショットをした時の爽快感は最高の気分になります。その代りたった30センチメートルのパットを外した時の気持ちは、やった人でないとわからないと思いますが本当に悲しくなります。そんなこんなでゴルフを続けていて私も50歳近くに（世間で言うアラフィフティ）になりますが、この年になっても10才以上も年の違う若者や逆に10才以上も年上の人と真剣勝負ができ、勝ち負けに一喜一憂することができるスポーツに出会えたことに、喜びを感じています。



海コース・伊豆半島ホール



山コース・2番

日頃、危険物を扱っていることもあり、また多くの宿泊者を相手にすることから緊張する時間が多く、緑とおいしい空気（マイナスイオン）を体いっぱい吸い、気の合った仲間とワイワイやりながら、真剣に時には悔しさをあじわいつつ、月に数回行くゴルフは私の最高のストレス解消法となっています。

まだスコアは90を切ったり、切らなかつたりですがこのコラムを読んで挑戦したくなった協会さんは連絡を下さい。お待ちしております。



☆☆☆ ちよつとひといき ☆☆☆



還暦を迎えて思うこと

裾野市防火協会

会 長 瀧 本 敏 幸

北海道歌志内市に生まれ、60年という年月を重ね、この8月に富士山の麓裾野市で還暦を迎えました。

北海道から静岡県へ来たのは、工業高校を卒業後、トヨタ自動車(株) (当時はトヨタ自動車工業(株)) へ入社し、東富士研究所に配属され、裾野市の独身寮から新たな生活がスタートしました。それから41年余を裾野市で暮らしてきました。

その間、労働組合に推されて裾野市議会議員の職を3期12年間務め、昨年10月に東富士研究所管理部の職場で本来業務に復帰したところ、本年5月から裾野市防火協会会長の役目を仰せつかることになりました。

振り返れば、自分にとって社会人として必要な知識や能力はすべてトヨタ自動車という企業やお世話になった先輩達に教わりながら成長させて頂いたことを、あらためて実感し感謝しています。

特に、自動車用エンジンの研究開発の業務に就き、様々な実験を行ってきましたが、常に危険物であるガソリンを扱いながら仕事をしてきました。しかし、これまで仕事上でも生活上でも火災事故等を発生させることなく、安全に過ごして来られたことは、先輩達から教わった防火安全行動ができたことによるものと、あらためて振り返っているところです。

ちなみに、昭和52年に乙種4類の危険物取扱者の免状を取得しています。

今後、裾野市防火協会の会長としては、自分が勤める企業の防火・防災体制強化の取り組みだけでなく、市内の多くの企業や市民の皆様にとって有益な防火・防災への備えの事例等を積極的に発信していきたいと考えています。

4年半前に発生した東日本大震災の教訓や、今後発生が想定されている南海トラフ大地震および富士山噴火に備えて、命を守り、少しでも被害を小さくするために有効な備えを出来る限り進めていけるように、裾野市防火協会の活動に携わって行きたいと思います。

最後に、静岡県危険物安全協会連合会に加盟されている企業・団体の皆様と情報を共有しながら、今後の防火・防災体制の強化を目指して行きたいと思いますので、よろしくお願いたします。

掛川市危険物安全協会



『ちょっといいとこ掛川の紹介』

静岡と浜松の間にある掛川、通過するだけでなく、たまには寄り道してみてください。ちょっといいとこありますよ。

2006年に放送されたNHK大河ドラマ「功名が辻」で、その名を知られる山内一豊（ホントは妻の千代が有名？）が掛川城の大改築を実施して天守閣を築き、同時に城下町の整備を行いました。その後、四国土佐へと移った一豊は、築城の際、「天守は掛川城のとおり」と命じたことから、現存する高知城の天守は掛川城にそっくりです。正確に言いますと、日本初の本格木造天守閣復元した時は、逆に高知城を手本としました。前置きはこれくらいにして、今回の紹介は、そのお城ではなく、城周辺（歴史・文化ゾーン）の様々な魅力ある建造物群です。

掛川駅北口を出たら振り向いてみましょう。なんとも風情ある木造の駅舎ですよ。各地の駅舎が建て替えられる中、昭和8年から戦争や風水害に耐え、更に多くの市民による募金活動などにより、昨年耐震工事が終了しました。そのたたくまいと温もりを感じつつ、お城を目途に歩いて行きましょう。



風情ある木造駅舎（掛川駅北口）



掛川城御殿（国重要文化財）

お城の周辺は、歴史・文化ゾーンです。掛川城御殿は、現存する城郭御殿としては、全国で数カ所しか残っていない大変貴重なもので、国の重要文化財に指定されています。

当時は城主の公邸、藩の役所、その後、学校や町役場、消防署として使用されていました。



二の丸茶室

御殿の近くには一文字葺屋根が美しい伝統的数奇屋造りの二の丸茶室、切り妻大屋根が魅力の二の丸美術館も周辺の雰囲気と調和してとてもいい感じです。



二の丸美術館

掛川城御殿の東側に足を運んでみて下さい。平成13年に建て替えられた中央図書館が、堂々と鎮座しています。

木造平屋の低層建築で、日本瓦寄せ棟屋根です。木部の多い館内は外部からも見通せる、明るく開放性の高い、現代の数奇屋といった処でしょうか。

中央図書館と仲良く向き合っている淡山翁記念報徳図書館は、昭和2年に建てられた鉄筋コンクリート造りの図書館で往時の図書館様式を今に伝える貴重な建造物です。昭和初期と現代の図書館を比較しながら楽しんでみて下さい。



中央図書館



淡山翁記念報徳図書館（県指定文化財）

『報徳運動と近代和風木造建築物群』

掛川の報徳運動は、明治維新前後に二宮尊徳から直接教えを受けた岡田佐平治、良一郎親子が中心となり、報徳思想の普及活動が大変盛んであったそうです。やがて全国の報徳運動の中心となり、大日本報徳社が開設されました。



大日本報徳社大講堂（国重要文化財）

現在、近代和風木造建築物群の保存補修工事が完成し、見学することができます。なかでも大講堂は明治36年に建設され、現存する公会堂としては最古の建築物です。報徳社の象徴的な建物で、日本瓦の大屋根、漆喰塗りの外壁に洋風で丸みのある窓など和洋折衷に仕上がっています。



大講堂内、大広間



大講堂の他にも県指定文化財の冀北学舎、仰徳学寮、そして明治17年に東京霞ヶ関で有栖川宮邸として建てられた日本館の一部が宮内庁から下賜、移築されています。（昭和17年移築）

『新名所ステンドグラス美術館が開館』

近代和風木造建築物群の北側へも足を運んで下さい。

江戸時代より続く葛布問屋「松屋」を営んでいた松本家が本宅として明治36年に建築した建物桁行十間、梁間七間半の平屋建寄棟造で「竹の丸」と呼ばれている大きなお屋敷があります。

(18世紀初頭に描かれた「遠州懸河城郭図」に「竹ノ丸」という表記が見られたことからこう呼ばれているのでは?)



竹の丸

主に歴史を感じる建造物群を見てきましたが最後は今年の6月に開館したステンドグラス美術館へお誘いします。

竹の丸から西を見ると、「あれ? とんがり屋根のこの建物は?」と思ったら、それがステンドグラス美術館です。



国内初の公立ステンドグラス美術館で、19世紀イギリスのヴィクトリア朝時代の作品約70点とフランスのバラ窓10点で構成されています。いずれも当時の代表する工房の最盛期に制作されたもので、技術的・装飾的にも素晴らしい作品揃いです。光を通して見るステンドグラスの美しさを堪能したら寄り道は終わりです。



今回、紹介しました歴史・文化ゾーンは、掛川城御殿を中心に徒歩で約10分くらいで一回り出来る魅力ある建造物が集中しているところです。

お帰りが、夕方になってしまっても大丈夫。お城から駅までの道のりには、美味しいもので一杯やれるところ沢山ありますよ。ホント沢山。

「まだまだ、見所満載のかけがわへ是非、途中下車してみてください」

『協会の紹介』



街頭広報（JR掛川駅前）



消防フェスタへ参加（焼き鳥販売）

掛川市危険物安全協会は、危険物の管理及び取り扱いの向上を図り、災害予防に努めるとともに、会員相互の融和親睦を深め、事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的に、平成27年4月現在、213事業所で組織されております。

昭和42年に設立し、平成17年に旧小笠地区危険物安全協会のうち旧大東町、大須賀町に施設のある会員と合併し、現在に至っております。

主な事業内容は、5月に定期総会、表彰及び講演会、10月は視察研修、秋の火災予防運動期間中に消防フェスタへの参加。そして2月は防災研修会、3月には春の火災予防運動期間中に、JR掛川駅周辺で火災予防広報活動を実施しております。

また、危険物取扱者試験の直前（年4回実施）に夜間講習を行っており、働きながら資格取得を目指す皆様に大変好評を得ております。

『歴史のまちに祭り文化』

例年秋に掛川城下で行われる掛川祭りは、仁藤の大獅子が有名ですが、ここで紹介する祭りは遠州横須賀三熊野神社大祭です。

享保年間（1720年頃）、江戸幕府老中職にあった第14代横須賀城主が、当時の江戸天下祭（神田・山王両祭礼）の文化を横須賀の地へと伝えたといわれています。

桜も咲き誇る4月、遠州地方の祭りのトップを飾る遠州横須賀三熊野神社大祭は、神輿の渡御とお供に従う華やかな13台の衾里（ねり）の引き廻しです。笛と太鼓が奏でる祭囃子、「シタッ！シタッ！」の掛け声とともに曳き廻される衾里の、勇壮かつ華麗な姿に人々も引き込まれ、横須賀の町は祭り一色となります。



神田神社鳥居を潜る衾里

今年5月に開催された神田神社鎮座400年記念の「神田祭」（東京）に遠州横須賀の西田町（に組）と河原町（か組）の2町が江戸へ里帰りを果たしました。



東京駅前では衾里の引き廻し



焼津市危険物安全協会

焼津市危険物安全協会は、水産業、食品加工業、塗装業、ガソリンスタンド等様々な事業所で構成されており、昭和46年に設立されました。平成20年には大井川町が焼津市と合併し、更に多くの事業所が加入しました。発足から40年余りが経過しますが、大きな災害はありません。現在では167の事業所が加入し、日ごろから明るく、安心、安全なまちづくりを目指しています。



定期総会、各委員会、視察研修、保安指導等が行われています。また、救急講習等へも積極的に参加しております。

視察研修

平成26年10月17日(金) 会長以下22名で横須賀市にある在日米海軍日本消防局へ行ってきました。敷地内を見学し、救出訓練を視察しました。

車両や装備はアメリカ使用ですが、隊員は日本の外務省に雇われた日本人の派遣職員です。(ちなみに、休みの日のアルバイトは自由です)



保安指導



平成26年10月22日(水)に16事業所、19施設を対象に保安指導を実施し、施設の管理状況を確認しました。会員相互に危険物施設の維持管理、法令遵守を確認しあい、会員の中から事故、違反を出さないという強い意識のもとに活動を行っています。設立以来、大きな事故を引き起こしていない礎となっている事業です。

焼津市の紹介



焼津市は、東京から西へ約193キロメートル、名古屋から東へ約173キロメートル、京浜・中京のほぼ中間に位置します。年間平均気温16.5度、冬季の降雪もまれな温暖な気候であり、人口は約14万3千人、太平洋に面し「漁業のまち」として栄えた町です。

当市には焼津漁港、大井川港があります。特に焼津漁港は全国に13港ある「特定第三種漁港」のひとつに指定されており、全国有数の水揚げを誇っています。なかでも「かつお（冷凍）」の上場水揚げ量日本一の漁港として知られています。

また、水揚げされた魚を用いた水産加工業も盛んであり、鰹節は全国有数の生産地となっているほか、かつおやマグロの佃煮、サバ等を使用した黒はんぺんは特産品となっています。



やいちゃん(公認マスコット)

イベント・観光スポット紹介



焼津神社大祭 荒祭

毎年8月12・13日に行われる焼津神社の大祭は、「東海一の荒祭」として知られており、焼津の人々が心待ちにしているお祭りの一つです。お祭りの行列は様々な神役が、神様の通る道を何度もお清めしながら進んでいきます。

荒祭は、威勢の良さから荒々しいことだけが注目されがちですが、荒祭の

「荒」は「荒っぽい」「暴れる」というような意味ではなく、「素朴」「純粹」「まっさら」な気持ちで神様に向き合うという意味で、先人達の御祭神に向けた純粹で素朴な気持ちにより守り伝えられている祭なのです。

ディスカバリーパーク焼津天文科学館



1997年に開館した焼津市の海岸線に位置する天文科学館。焼津市出身の世界的望遠鏡製作者故・法月惣次郎氏が手掛けた東海地区最大級の口径80センチ天体望遠鏡を備える天文台、2010年3月にリニューアルした、人が見ることのできる星空を視覚に忠実に再現し、国内最高水準の高解像度CGを投影する統合型プラネタリウム(GEMINISTAR3YAIZU)、季節ごとにテーマを変えて科学を楽しく体験しながら学べる展示・体験室などの設備が揃っています。

名誉館長は漫画家の松本零士氏。

焼津小泉八雲記念館



小泉八雲とその家族が焼津を最初に訪れたのは明治30年8月4日のことです。

水泳が得意だった八雲は、夏休みを海で過ごそうと、家族を連れてよい海岸を探していたのです。

海の見える駅で降り、順番に見て行こうということになり、降りた駅が焼津だったようです。焼津の深くて荒い海が気に入った八雲は、海岸通りの魚商人・山口乙吉の家の2階を借り、以後、明治32年、明治33年、明治34年、明治35年、明治37年と、亡くなるまでほとんどの夏を焼津で過ごし

ました。記念館では、小泉八雲が愛してやまなかった焼津における足跡や人々との交流について紹介しています。

小川港さば祭り



焼津市の秋のイベントとし定着している小川港さば祭りは、毎年10月下旬から11月上旬に開催されます。会場では、その日に小川港で水揚げされた新鮮なさばがU字溝で焼かれ1万食が無料で提供されるため長蛇の列ができます。会場では様々な海産物やかつおのへそ等珍しいものを売っており毎年多くの人で賑わいます。また、ギョレンジャーも駆け付けてくれます。





田方防火協会

《協会の紹介》

田方防火協会は、平成24年5月17日、前身である「田方危険物安全協会」（田方地区消防組合発足の翌年となる昭和48年2月4日、管内の111事業所（危険物事業所・液化石油ガス事業所）にて発足）、「田方地区旅館ホテル防災対策協議会」（昭和48年4月1日に179の宿泊施設にて発足）、「田方地区防災対策協議会」（昭和51年12月10日、分譲地・ゴルフ場等19事業所、5自治会にて発足）の3団体が、『防火・防災』という共通の目的の基、異業種の融合によって発足しました。



管轄区域は、函南町、伊豆の国市、伊豆市の2市1町で構成され、人口12万1千人、面積523km²、伊豆の玄関口から中央部及び駿河湾にかけて位置しています。



古くから「中伊豆温泉郷」として知られる多くの温泉場を抱え、年間の観光交流客は600万人に達し、伊豆縦貫道の開通による東名沼津IC、新東名長泉沼津ICへのアクセスの改善、更には韮山反射炉の世界遺産登録も重なり、その数は増加の一途をたどっています。

このように人口の流動する観光地「伊豆」という地域性を持つ管内の多種多様な事業所が、本協会を通じて保安管理及び防火管理の向上、そして火災等の災害防止活動を消防機関と密接な関係を保ちながら推進しています。

会員は、異業種間の交流の中で広く防火防災意識の高揚を図り、事業の健全なる発展、地域住民や観光客の安全と安心に貢献する活動を幅広く展開していきます。

《主な事業》

「防火管理講習会」

◆甲種・乙種・甲種（再）の各種防火管理講習会を実施しています。

「危険物取扱者試験予備講習会」

◆年3回の危険物取扱者試験予備講習会を実施しています。

「防火ポスターコンクール」

- ◆春季・秋季火災予防運動の一環として、管内の小学5年生を対象に防火ポスターを募集し、入賞者にメダル・賞状・記念品を贈り表彰すると共に、入賞作品は、火災予防運動期間中、管内の大型商業施設等に掲示しています。



「火災予防PR」

- ◆会報「田方」の発行
協会の会報誌、会報「田方」を毎年、秋に発行、会員、近隣協会等、各関係機関に配布し、相互の交流と共に防火・防災意識の高揚を図っています。

- ◆防火PRグッズの配布
火災予防運動の防火PR事業として、管内の小学1年生に防火PRグッズを配布しています。



「救命講習会」

- ◆会員及び会員事業所の従業員を対象とした救命講習会を開催し、管内の救急救命率の向上を図っています。

「視察研修会」

- ◆防火・防災意識の高揚と役員相互の親睦を図る目的に、役員、保安委員を対象とした視察研修会を開催しています。



《観光スポット》

以下、私たち管内の自慢の名所旧跡をご紹介します。

韮山反射炉

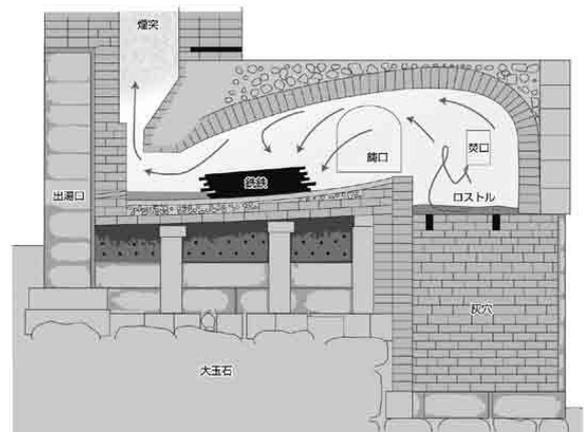


平成27年7月5日 韮山反射炉は「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録されました。

1853年ペリー来航により外国からの脅威にさらされ、江戸湾の海防責任者であった伊豆韮山代官 江川英龍（坦庵）により、現在の東京お台場へ大砲を設置するため建設されました。

反射炉は山口県萩市にもありますが、実際に大砲を鑄造した反射炉として国内で唯一現存するものです。

反射炉は、17世紀から18世紀にかけてヨーロッパで発達した金属を溶かして大砲などを鑄造するための溶解炉で、内部の天井がドーム状になった炉体部と煉瓦積みの高い煙突からなっています。石炭などを燃料として発生させた熱や炎を炉内の天井で反射し、一点に集中させることにより、鉄を溶かすことが可能な千数百度の高温を実現します。このような熱や炎を反射するしくみから「反射炉」と呼ばれたのです。



炉体断面図

天城山系



江戸時代に幕府直轄地として森林が保護された為、原生林が広がり、また天城山の年間雨量は3,000mmを超え、樹木、コケ、シダが生い茂る原生林は日本の他の山に見られず、日本の百名山に挙げられています。ブナの原生林は白神山地が有名ですが、伊豆市天城山にも国指定の特別保護区に指定される「ブナの原生林」があり、長い年月手を加えられず保たれた自然環境が見ることができます。伊豆市には特別保護区として同じ天城山系の八丁池周辺から、万三郎岳、万二郎岳周辺地域があります。

修禅寺



修善寺温泉の中央に位置し、平安時代初期に弘法大師の開基とされています。

毎年11月に10日間だけ一般公開される大日如来坐像は国の重要文化財に指定され、修善寺温泉を代表する観光スポットにもなっています。

また、修禅寺前にあり修善寺温泉発祥の元になった「独鈷の湯」は、弘法大師が湧出させた伊豆最古の温泉と言われています。

江川邸



中世から続く豪族で、江戸時代には伊豆、相模、駿河、甲斐、武蔵の幕府直轄地を統治する代官職の邸宅で、江戸時代初期、1600年頃に建てられ国の重要文化財に指定されています。

一度も火災を起こしていないので、江戸時代の暮らしがそのまま顧みることができます。又、日本で初めてパンを焼いた窯や、生えているケヤキをそのまま柱にしたと伝えられる「生き柱」のほか、豊臣秀吉軍に攻撃された鉄砲や、やじりの穴跡が数多く残る裏門など、大変見応えのある建物になっています。

十国峠



伊豆と箱根を結ぶドライブルートの中で、もっとも風光明媚なポイントの1つです。富士山はもとより、相模湾から伊豆七島、駿河湾から天城連山まで見渡せます。

十国とは、昔、伊豆・駿河・遠江・甲斐・信濃・武蔵・上総・下総・安房・相模が眺められたところから、この名が生まれました。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

危険物取扱作業に従事されている方へ

(H27年度 法定講習)

危険物取扱者保安講習

- 各会場定員があります。定員に達した場合は当連合会のホームページに掲載します。確認の上、受講申請をしてください。申請者が会場の定員に達した場合は、締切り前でも受付を終了します。詳しくは、受講案内をご覧ください。
- 平成28年1月、2月期の講習は、受講者が多くなることが予想されますので、早めの受講をお願いいたします。

開催時期	申請期間	講習種別	講習日	定員(名)	会場				
27年 7月期	5月1日(金) ↓ 5月29日(金) 締切日必着	給油取扱所	7月10日(金)午前	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」)				
			7月24日(金)午後	180	沼津市(大手町1-1-4「プラザ ヴェルデ」)				
			7月31日(金)午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)				
		一般 ¹⁾	コンピナート	7月22日(水)午後	90	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)			
				7月9日(木)午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」)			
				7月10日(金)午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」)			
				7月17日(金)午後	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)			
				7月23日(木)午後	180	沼津市(大手町1-1-4「プラザ ヴェルデ」)			
				7月24日(金)午前	180	沼津市(大手町1-1-4「プラザ ヴェルデ」)			
				7月30日(木)午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)			
				7月30日(木)午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)			
				7月31日(金)午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)			
				27年 9月期	7月1日(水) ↓ 7月31日(金) 締切日必着	給油取扱所	9月16日(水)午前	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
							9月29日(火)午前	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)
一般 ¹⁾	9月11日(金)午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津市文化会館」)						
	9月16日(水)午後	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)						
	9月18日(金)午後	190	裾野市(深良435「裾野市生涯学習センター」)						
	9月29日(火)午後	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)						
27年 10,11月期	8月3日(月) ↓ 8月31日(月) 締切日必着	給油取扱所	10月19日(月)午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コンgresセンター」)				
			10月21日(水)午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)				
			10月22日(木)午前	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)				
			10月28日(水)午前	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)				
			11月6日(金)午前	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)				
			11月17日(火)午前	300	掛川市(満水2000「ヤマハリゾートつま恋」)				
			11月24日(火)午前	300	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)				
		一般 ¹⁾	10月20日(火)午前	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コンgresセンター」)				
			10月20日(火)午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コンgresセンター」)				
			10月21日(水)午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)				
			10月22日(木)午後	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)				
			10月27日(火)午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)				
			10月28日(水)午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)				
			11月6日(金)午後	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)				
			11月12日(木)午前	300	磐田市(上新屋304「アマミュージアム」)				
			11月12日(木)午後	300	磐田市(上新屋304「アマミュージアム」)				
			11月16日(月)午後	300	掛川市(満水2000「ヤマハリゾートつま恋」)				
			11月17日(火)午後	300	掛川市(満水2000「ヤマハリゾートつま恋」)				
			11月24日(火)午後	300	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)				
			11月26日(木)午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津市文化会館」)				
			28年 1月,2月期	12月1日(火) ↓ 12月28日(月) 締切日必着	給油取扱所	1月27日(水)午前	300	掛川市(満水2000「ヤマハリゾートつま恋」)	
						2月5日(金)午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)	
2月16日(火)午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)							
一般 ¹⁾	1月27日(水)午後	300			掛川市(満水2000「ヤマハリゾートつま恋」)				
	2月5日(金)午後	300			沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)				
	2月9日(火)午前	150			富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)				
	2月9日(火)午後	150			富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)				
	2月16日(火)午後	300			静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)				

1) コンピナート、給油取扱所以外は一般

- 受講案内(受講申請書)の入手方法(次のいずれかの方法で入手してください)
 - (1) 県下の消防局・消防本部内にある「地区協会」、および消防署(一部)で配付しています。
 - (2) (一社)静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

- 受講申請書提出先
給油取扱所、一般の方は一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会へ郵送
またはご持参(土・日・祝を除く平日8:30~17:00)ください。

- 問い合わせ先 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話: 054-252-5512 FAX: 054-273-6524
URL: <http://www.skiren.jp/>

コンピナートをご受講される方はこちらへご提出ください。
〒420-0853 静岡市葵区追手町6番2号
静岡県防災協会 宛て 電話054-255-6565

静岡県 (保安講習実施機関)
一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 (保安講習事務受託機関)

(H27.4)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

乙種第4類を受験される方へ！
本講習を受けると合格率が違います！

危険物取扱者試験 予備講習

1. 一回の受講料で、合格まで何度でも再受講（有効期間1年）できます。
2. わからなかった例題集の問題は、メール（FAX）で個人に回答します。
3. 試験直前に、追加講習（実務編の物理・化学主体）を実施します。

●受講案内（受講申請書）の入手方法（以下のどちらか）

- (1) 県下の消防局・消防本部内にある「地区協会」、および消防署（一部）で配付しています。
- (2) （一社）静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

●受講申請書提出先

（一社）静岡県危険物安全協会連合会へ郵送してください。

●使用テキスト（テキストは指定です。講習前にいずれかの方法で入手し、事前に一読してください。講習会場では販売しません。）

テキスト代 4,340円（（一財）全国危険物安全協会のテキスト〈3冊1セット〉を使用。）

- (1) 県下の消防局・消防本部内にある「地区協会」で購入してください。
- (2) （一社）静岡県危険物安全協会連合会で購入してください。（送付可。送料は受講者負担。）

●講習種類（乙種第4類のみ）と受講料（学生割引50%があります。）

- (1) 1日講習 一般 4,000円（当日受付は5,000円） 学生 2,000円（当日受付は3,000円）
- (2) 2日講習 一般 7,000円（当日受付は8,000円） 学生 3,500円（当日受付は4,500円）
2日講習は、講義だけでなく例題集もやります。（物理と化学の苦手な方にお勧めします。）
- (3) 追加講習（25名／定員） 無料【追加講習のみを受講する場合 4,000円（当日受付は5,000円）】
実務編の物理と化学を中心に問題解説を行います。

●講習日程

開催時期	申請期間	講習の種類	講習日	会場
27年11月期 (試験日) 11月1日 11月8日	4月1日から 受講希望日の 1週間前(必着)	1日講習	10月1日(木)	浜松市(中区板屋町111-1「アクトシティ浜松研修交流センター」)
			10月6日(火)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			10月7日(水)	掛川市(大坂7373「掛川市文化会館シオーネ」)
			10月8日(木)	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			10月13日(火)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			10月15日(木)	焼津市(三ヶ名1550「焼津市文化会館」)
28年 2月期 (試験日) 2月14日	4月1日から 受講希望日の 1週間前(必着)	1日講習	10月16日(金)	磐田市(二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」)
			10月3日(土)~10月4日(日)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			10月10日(土)~10月11日(日)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			10月17日(土)~10月18日(日)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			10月22日(木)~10月23日(金)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			10月24日(土) 9:00~16:00	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
28年 2月期 (試験日) 2月14日	4月1日から 受講希望日の 1週間前(必着)	1日講習	1月13日(水)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			1月14日(木)	浜松市(中区板屋町111-1「アクトシティ浜松研修交流センター」)
			1月15日(金)	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			1月19日(火)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			1月22日(金)	磐田市(二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」)
			1月9日(土)~1月10日(日)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
2日講習	1月23日(土)~1月24日(日)	静岡市(駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)		
	1月30日(土)~1月31日(日)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)		
	2月13日(土) 9:00~16:00	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)		

※日程等は都合により変更になる場合があります。

●問い合わせ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話：054-252-5512 FAX：054-273-6524

(H27.7)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

ア 法人の現況に関する事項

I 会員の状況

種類	前年度末	当年度末	増 減
正 会 員	27	26	△1
賛助会員	4	4	—
特別会員	—	—	—
計	31	30	△1

正会員の退会 西伊豆広域危険物安全協会（平成27年3月31日解散）

イ 事業の実施状況に関する事項

I 継続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関わる人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

	申請者		(H25申請者)
・ 1日講習 6・11・2月期（延べ21会場）	562名	再受講35名	(542名)
・ 2日講習 6・11・2月期（延べ9会場）	317名	再受講53名	(333名)
1日・2日講習合計	879名	再受講88名	(875名)
・ 追加講習 3回 63名			
* 静岡市防災協会との共同開催 静岡市分受講者 56名			
* 静岡県シルバー人材センター連合会からの受託講習 3会場 33名			

(2) 視聴覚教材整備事業（保安講習等普及啓発目的 DVD配布）

- ・ 各地区協会に1本配布（4月）
- 「事故事例から学ぶ 危険物の保安対策」

(3) 危険物管理等技術研修事業

① 管理技術研修会

- ・ 日 時 平成26年11月13日（木）
- ・ 会 場 静岡市民文化会館（静岡市葵区）
- ・ 講 演 講師 全国危険物安全協会 業務部長 古河大直氏
演題「津波災害を含めた 危険物施設の災害等対策について」
- ・ 参加者数 229名

② 高圧ガス危険物防災訓練事業

- ・ 日時 平成26年11月12日（水）
- ・ 会場 島田市横井地先 大井川緑地
- ・ 主催 静岡県、静岡県液化石油ガス地域防災協議会、（一社）静岡県LPガス協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会、島田・北榛原地区危険物安全協会など10団体
- ・ 協力 静岡県警察本部、静岡県島田警察署、島田市消防本部

(4) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

- ① 地区協会等主催、県危険物安全協会連合会後援または共催の講演会等
 - ・ 5月16日 御殿場市小山町防火安全協会（後援）
- ② （一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等
 - ・ 6月10日 危険物施設安全推進講演会（東京都） 9名

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

- ① 表彰委員会の開催（6月11日、2月17日）
各表彰候補者、会長表彰等の選考

- ② 第44回創立記念大会開催事業
 - ・ 日 時 平成26年9月11日（木）
 - ・ 会 場 静岡市民文化会館 中ホール
 - ・ 表 彰 県知事表彰 9名
県危険物安全協会連合会会長表彰 62名
 - ・ 記念講演（演題）「1年で駅弁売上を5000万円アップさせた カリスマパート主婦が語る奇跡のサービス」
（講師）(株)日本レストランエンタプライズ駅弁マイスター 三浦由紀江氏
 - ・ 参加者 319名

(2) 広報活動事業

- ① 危険物安全週間推進事業
危険物安全週間 平成26年6月8日（日）～14日（土）
 - ・ 危険物安全大会への参加
日 時 平成26年6月9日（月）
会 場 スクワール麴町（東京都千代田区）
参加者 18名（受賞者、地区協会職員、連合会職員）
 - ・ 危険物施設安全推進講演会への参加
（東京会場）
日 時 平成26年6月10日（火）
会 場 スクワール麴町（東京都千代田区）
参加者 9名（地区協会職員等）
 - ・ 危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布
安全週間推進ポスター 5,120枚
危険物に関する小冊子 一般用 3,400冊
取扱者用 3,090冊

II その他事業（収益事業）

II-1 保安全管理等受託業務事業

(1) 危険物取扱者保安講習

受講申請者数：7,500名（内企業講習；延べ12回 1,230名）

申請者【（ ）はH25実績】

・ 7月期	平成26年7月11日～7月29日	16回	2,000	(2,353)	名
・ 9月期	平成26年9月9日～9月26日	10回	1,305	(748)	名
・ 11月期	平成26年10月23日～12月25日	25回	3,016	(3,270)	名
・ 2月期	平成27年1月28日～2月13日	10回	1,179	(1,134)	名
	合 計	61回	7,500	(7,505)	名

(2) 定期点検実施制度に係る業務受託事業

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者に対する実態調査等

- ・事業者認定等事務（認定申請受理、認定証交付）（再認定含む） 0件
- ・認定事業者軽微変更届出事務（届出受理、付随業務） 6件
- ・認定事業者廃止届出事務（届出受理、付随業務） 0件
- ・認定事業者実態調査事務（認定事業者指導員との連絡調整など） 延べ9事業者
- ・点検済証交付事務 延べ 11事業者 1,310枚

II-2 危険物関係図書等販売事業

(1) 危険物取扱者試験テキスト等販売事業

（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト販売（H25実績）

- ・平成26年度版危険物取扱必携法令編 1,693冊（1,912）
- ・平成26年度版危険物取扱必携実務編 1,673冊（1,822）
- ・平成26年度版危険物取扱者試験例題集（甲、乙） 1,736冊（2,093）

(2) 定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検記録簿の作成・販売（H25実績）

- ・増刷数 1,010冊（1,600）
- ・販売数 1,060冊（1,430）

III 法人管理事業

(1) 会議の開催

① 地区協会担当者及び保安講習講師担当者会議

- ・日時 平成26年5月9日（金）
- ・会場 静岡市産学交流センター（静岡市 ペガサート）
- ・県危連の事業計画推進への協力依頼等

② 常任委員会

（第1回総務広報合同委員会）

- ・日時 平成26年5月28日（水）
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室（静岡市）
- ・平成26年度の事業計画、広報活動計画等

（第1回総務企画合同委員会）

- ・日時 平成27年3月18日（水）
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室（静岡市）
- ・平成27年度予算、事業計画 平成26年度事業進捗状況等

③ 表彰委員会

（第1回）

- ・日時 平成26年6月11日（水）
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室（静岡市）
- ・県知事表彰候補者、会長表彰等の選考

（第2回）

- ・日時 平成27年2月17日（火）
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室（静岡市）
- ・消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

④ 理事会

(第1回)

- ・日時 平成26年5月28日(水)
- ・会場 グランディエールブuketーカイ(静岡市)
- ・議題 報告事項:平成25年度常任委員会、表彰委員会報告
決議事項:理事・監事・常任委員会・表彰特別員会委員選任、
通常総会議案審議(平成25年度事業報告、平成25年度収支決算報告)、理事・顧問・参与・常任委員会委員等の選任

(第2回)

- ・日時 平成26年6月27日(金)
- ・会場 クーポール会館(静岡市)
- ・議題 正副会長の選任

(第3回)

- ・日時 平成26年11月13日(木)
- ・会場 静岡市民文化会館会議室(静岡市)
- ・議題 平成26年度上半期の事業進捗状況

(第4回)

- ・日時 平成27年3月18日(水)
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室(静岡市)
- ・議題 決議事項:平成27年度事業計画、平成27年度収支予算
報告事項:平成26年度事業計画進捗状況 等

⑤ 総会

- ・日時 平成26年6月27日(金)
- ・会場 クーポール会館(静岡市)
- ・議題 決議事項:平成25年度事業報告、平成25年度決算報告、理事・監事の選任

⑥ 正副会長会議

(第1回)

- ・日時 平成26年4月30日(水)・・・ホテルアソシア(静岡市)

(第2回)

- ・日時 平成26年5月28日(水)・・・グランディエールブuketーカイ(静岡市)

(第3回)

- ・日時 平成26年6月11日(水)・・・グランディエールブuketーカイ(静岡市)

(第4回)

- ・日時 平成26年6月27日(金)・・・クーポール会館(静岡市)

(第5回)

- ・日時 平成26年7月28日(月)・・・静岡グランドホテル中島屋(静岡市)

(第6回)

- ・日時 平成26年9月11日(木)・・・静岡市民文化会館(静岡市)

(第7回)

- ・日時 平成27年2月17日(火)・・・グランディエールブuketーカイ(静岡市)

(2) 会議への参加

① 都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議

- ・日時 平成26年4月24日(木)・・・スクワール麴町(東京都千代田区)

② 北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議

- ・日時 平成26年8月28日(木)～29日(金)・・・静岡市

- ③ 都道府県危険物安全協会連合会会長研修会
 - ・日時 平成27年1月28日（水）・・・ルポール麹町（東京都千代田区）
- ④ 静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
 - ア 協議会
 - ・日時 平成26年4月23日（水）
 - ・会場 静岡県庁別館8階 第4会議室
 - イ 東名日本坂トンネル防災訓練の視察
 - ・日時 平成27年3月11日（水）

（3）他団体事業への協力事業

- ① （一財）全国危険物安全協会会費
- ② 県幼少年女性防火委員会協力費

（4）事務局の運営

年間を通じて総務、経理処理等の業務推進

IV I～Ⅲにまたがる主な事業

（1）広報活動事業

- ①ホームページ運営事業
 - ・年間を通じて、危険物の保安管理等に関わる各種情報の提供
- ②会報発行事業（会報第64号）
 - ・発行 平成26年9月
 - ・紙版 350冊（うち地区協会：292冊、その他関係機関宛て：52冊）
 - ・ウェブ版 平成26年11月アップ
 - ・地区協会等の会員企業の広告掲載（4社）



予備講習



東名日本坂トンネル防災訓練

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成26年度 決算額 (対前年度比較)

(参考資料) 単位：円

	平成26年度 決算額(A)	平成25年度 決算額(A)	増減 (A - B)	備 考
1 経常収益				
(1) 特定資産運用益	573,191	573,302	△ 111	
・特定資産受取利息	573,191	573,302	△ 111	静岡県債 2016年11月 償還
(2) 受取会費	3,400,000	3,400,000	0	
・正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0	
・賛助会員受取会費	200,000	200,000	0	
(3) 事業収益	43,912,606	42,509,460	1,403,146	
(3)-1 継続事業 (公益事業)	7,494,822	5,345,000	2,149,822	
・予備講習受講料収益	4,504,000	4,569,000	△ 65,000	
・シルバー講習受託収益	1,539,847	0	1,539,847	新規に予備講習を受託
・全危協受取助成金	1,226,000	743,000	483,000	小冊子助成の増等
・その他の収益	224,975	33,000	191,975	講習共同開催負担金の増
(3)-2 その他事業 (収益事業)	36,417,784	37,164,460	△ 746,676	
・保安講習受託事業収益	28,200,000	28,218,800	△ 18,800	申請者 7,500名
・全危協業務受託事業収益	471,644	371,770	99,874	
・テキスト販売事業収益	6,699,250	7,189,160	△ 489,910	販売冊数 5,655冊⇒5,102冊 (553冊減)
・定期点検記録簿販売事業収益	415,670	546,510	△ 130,840	販売冊数 1,430冊⇒1,060冊 (370冊減)
・全危協受取助成金	619,220	821,720	△ 202,500	
・その他の収益	12,000	16,500	△ 4,500	
(4) 雑収益	377,343	8,183	369,160	
・全危協助成金、東海地区会議負担金	360,000	0	360,000	
・その他の雑収益	17,343	8,183	9,160	
経 常 収 益 合 計	48,263,140	46,490,945	1,772,195	
1 経常費用				
(1) 事業費用	39,037,238	35,013,257	4,023,981	
(1)-1 継続事業 (公益事業)	15,718,073	12,286,581	3,431,492	
・予備講習事業費用	10,655,338	9,415,221	1,240,117	事務所借上料の按分、講師謝金の増
・シルバー講習受託事業費用	1,328,276	0	1,328,276	新規受託に伴う費用増
・危険物管理等技術研修事業費用	304,471	325,557	△ 21,086	
・講演会等人材育成事業費用	107,844	111,610	△ 3,766	
・視聴覚教材整備事業費用	324,864	3,360	321,504	購入時期の変更による増
・表彰関連事業費用	1,388,034	1,258,630	129,404	
・広報活動事業費用	1,609,246	1,172,203	437,043	危険物取扱者用小冊子3,090冊による増
(1)-2 その他事業 (収益事業)	23,319,165	22,726,676	592,489	
・保安講習受託事業費用	18,080,785	17,116,055	964,730	事務所借上料の按分、講師謝金の増
・全危協受託事業費用	161,222	107,210	54,012	
・テキスト販売事業費用	4,789,566	5,110,501	△ 320,935	
・定期点検記録簿販売事業費用	287,592	392,910	△ 105,318	
(2) 管理費用	8,105,276	9,493,331	△ 1,388,055	
経 常 費 用 合 計	47,142,514	44,506,588	2,635,926	
当 期 経 常 損 益	1,120,626	1,984,357	△ 863,731	

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成27年度 事業計画書

新法人の事業区分に従い公益性が強い「継続事業」と収益のある「その他事業」に分類した。

I 継続事業（人材育成と普及啓発事業）

I-1 人材育成事業

I-2 普及啓発事業

II その他事業（保安講習等に関する受託と図書販売事業）

II-1 受託事業

II-2 図書販売事業

III 法人管理事業

I 継続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関わる人材育成事業

（1）危険物取扱者試験予備講習事業

危険物取扱者試験（乙種4類）の受験者を対象に受験対策講習を開催し、合格率を向上させることにより危険物取扱者の確保を図る。（H26年度の実績の端数切捨て）

- ・ 1日講習 年3期（延べ19会場） 延べ560名
- ・ 2日講習 年3期（延べ10会場） 延べ310名
- ・ 追加講習 年3期（延べ3会場） 延べ50名（無料）
- ・ 静岡県シルバー人材センター受託講習 3会場 延べ45名

（2）視聴覚教材整備事業

（一財）全国危険物安全協会、全国保安技術協会が発行する教育用ビデオやDVDを購入し、危険物取扱事業所における社員教育や、一般県民、学校等の危険物に関する安全教育のために無料貸出しを行う。また、保安講習に活用することにより人材育成を図る。

（3）危険物管理等技術研修事業

①管理技術研修会

危険物取扱者、危険物施設管理者、消防職員などを対象に危険物の保安管理に関する知識、技術の習得を行う。

- ・ 開催時期 平成27年11月19日（木）
- ・ 場所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
（静岡市駿河区池田79-4）
- ・ 講演講師 未定
- ・ 参加者数 約250名

②高圧ガス危険物防災訓練事業

静岡県、高圧ガス関係団体、消防機関などと協力し、高圧ガスと危険物に関わる防災訓練を行い、災害事故への対処方法の習熟を図る。

- ・ 開催地の地区協会と共同参加
- ・ 平成27年10月14日（水） 小山町

（4）講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①県危険物安全協会連合会と地区協会が連携し、地域に対応した危険物安全思想の普及啓蒙の促進を図るために、市民が広く参加できる講演会等を行う。

- ②（一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等の紹介や参加を要請し、危険物に係わる人材の育成を図る。

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

危険物による災害事故の防止に不断の努力を重ね、危険物の保安推進を図り、著しい成果を収めた個人及び危険物取扱事業所に対し、国や県の表彰候補者を選考・推薦するとともに、県危険物安全協会連合会会長表彰を行う。また、表彰に合わせて記念講演も行う。

①表彰委員会の開催

- ・消防庁長官表彰（H27年2名）及び、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰（H27年5名）候補者（事業所）の推薦
- ・県知事表彰候補者の選考
- ・県危険物安全協会連合会会長表彰者の決定

②創立記念大会開催事業

- ・開催時期 平成27年9月4日（金）
- ・場所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市駿河区池田79-4）
- ・記念講演講師 門倉 貴史（エコノミスト）
- ・参加者 350名

(2) 広報活動事業

- ①安全週間推進ポスター等の掲示・配付を行い、災害事故防止思想の普及啓発を図る。
- ・危険物安全週間 平成27年6月7日（日）～13日（土）
 - ・安全週間推進ポスター 約5,000枚
 - ・危険物に関する一般向け小冊子 4,030冊（内 県危連負担 3,400冊）
 - ・危険物取扱者向け小冊子 4,455冊（内 県危連負担 4,425冊）
- ②防火の集いや防火協会が推進する青少年育成のための大会等に協力し、青少年の危険物に対する安全思想の育成を図る。

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

(1) 危険物取扱者保安講習

危険物取扱者に課せられる保安講習（消防法第13条の23）の事務を静岡県知事から委託を受け実施する。これにより危険物取扱者の知識、技術の向上を図る。

- ・受講者：7,500名
- ・会場：東、中、西部の各地区 計11市（予定）
- ・時期：夏期（7月）、秋期（9～11月）、冬期（1～2月）
- ・出張講習：一般 概ね100人規模／回の参加が見込まれる企業等

(2) 定期点検実施制度に係る業務

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者の認定事務、同事業者に対する実態調査などを支援する。

- ・認定事業者：（一財）全国危険物安全協会の講習を受け認定された事業者

II-2 危険物関係図書等販売事業

危険物取扱者試験受験者及び危険物取扱事業所の利便性を高めるため、関係図書等を販売する。

(1) 危険物取扱者試験テキスト等販売事業

甲種及び乙種第4類の危険物取扱者試験受験者に対して（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト（3種類）を販売する。

(2) 定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検の内容を容易に把握でき、かつ点検結果を記録するための記録簿を作成し販売する。

Ⅲ 法人管理事業

(1) 会議の開催

- ①総会
- ②理事会
- ③正副会長会議
- ④常任委員会（総務、企画、広報）
- ⑤表彰委員会（再掲）
- ⑥保安講習講師及び地区協会担当者会議
- ⑦東中西3連絡会

(2) 会議への参加

- ①都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議
- ②北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議
- ③都道府県危険物安全協会連合会会長等研修会
- ④静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会

(3) 他団体事業への協力事業

- ①（一財）全国危険物安全協会会費
- ②県幼少年女性防火委員会協力費（I-2 普及啓発事業に移行）

(4) 総務・会計事務（事務局の運営）

Ⅳ I～Ⅲにまたがる主な事業

(1) 広報活動事業

- ①ホームページ運営事業
連合会のホームページに危険物に関連する各種情報（予備講習及び保安講習の受講案内、危険物関連情報、会報など）を提供する。
- ②会報発行事業
年1回、会報を作成し関係先に配付するとともに、ホームページ上に掲載し、災害事故防止思想の普及啓発を図る。なお、紙ベースも約350部を配付予定。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成27年度 収支予算 (正味財産増減計算ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	平成27年度	平成26年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	573,000	573,000	0
特定資産運用益計	573,000	573,000	0
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	4,410,000	4,780,000	▲ 370,000
受託料収益	29,790,000	30,676,000	▲ 886,000
図書等販売収益	7,155,000	8,144,000	▲ 989,000
事業収益計	41,355,000	43,600,000	▲ 2,245,000
受取補助金等			
受取民間助成金	1,825,000	1,723,000	102,000
受取補助金等計	1,825,000	1,723,000	102,000
受取負担金			
受取負担金	0	280,000	▲ 280,000
受取負担金計	0	280,000	▲ 280,000
雑収益			
受取利息	3,000	3,000	0
広告収入	40,000	150,000	▲ 110,000
雑収益計	43,000	153,000	▲ 110,000
経常収益計	47,196,000	49,729,000	▲ 2,533,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,267,000	7,496,000	771,000
臨時雇賃金	841,000	841,000	0
退職給付費用	490,000	490,000	0
福利厚生費	1,328,000	1,369,000	▲ 41,000
会議費	355,000	407,000	▲ 52,000
会場費	2,720,000	3,034,000	▲ 314,000
旅費交通費	1,788,000	1,688,000	100,000
通信運搬費	775,000	565,000	210,000
消耗什器備品費	100,000	0	100,000
消耗品費	615,000	538,000	77,000
印刷製本費	1,563,000	2,439,000	▲ 876,000
賃借料・リース料	1,748,000	0	1,748,000
保険料	30,000	34,000	▲ 4,000
諸謝金	3,177,000	2,785,000	392,000
支払負担金	300,000	297,000	3,000
支払助成金	70,000	0	70,000
委託費	3,290,000	4,005,000	▲ 715,000
図書購入費	13,293,000	12,958,000	335,000
サイト運営費	275,000	349,000	▲ 74,000
保守料	30,000	0	30,000
雑費	225,000	133,000	92,000
事業費計	41,280,000	39,428,000	1,852,000
管理費			
給与手当	2,135,000	1,942,000	193,000
退職給付費用	130,000	130,000	0
福利厚生費	352,000	352,000	0
会議費	1,000,000	1,039,000	▲ 39,000
旅費交通費	540,000	441,000	99,000
通信運搬費	100,000	184,000	▲ 84,000

平成27年度 収支予算 (正味財産増減計算ベース)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	平成27年度	平成26年度	増 減
消耗品費	392,000	315,000	77,000
印刷製本費	55,000	260,000	▲ 205,000
水道光熱費	270,000	266,000	4,000
賃借料・リース料	762,000	2,785,000	▲ 2,023,000
諸謝金	0	20,000	▲ 20,000
租税公課	1,108,000	1,092,000	16,000
支払負担金	124,000	80,000	44,000
支払助成金	260,000	270,000	▲ 10,000
支払会費	377,000	447,000	▲ 70,000
委託費	120,000	187,000	▲ 67,000
図書購入費	11,000	57,000	▲ 46,000
修繕費	50,000	47,000	3,000
研修費	40,000	45,000	▲ 5,000
保守料	65,000	131,000	▲ 66,000
サイト運営費	31,000	26,000	5,000
雑費	100,000	100,000	0
管理費計	8,022,000	10,216,000	▲ 2,194,000
経常費用計	49,302,000	49,644,000	▲ 342,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000
当期一般正味財産増減額	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	▲ 2,106,000	85,000	▲ 2,191,000

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

視聴覚教材一覧

連合会で整備している視聴覚教材です。県内への貸出しは無料ですので、市民の普及啓蒙活動や従業員教育などにご活用下さい。

整備年度	タイトル	媒体	時間	備考
平成2年	危険物施設の定期点検	VHS	21分	
平成2年	危険物の性質と事故	VHS	21分	
平成3年	危険物施設の日常点検	VHS	20分	
平成4年	危険物施設と静電気	VHS	21分	
平成5年	お父さんはタンクローリーの運転手	VHS	20分	
平成6年	災害事例から学ぶ	VHS	20分	
平成7年	事故だ！その時あなたは？	VHS	20分	
平成8年	給油取扱所の安全を築く	VHS	30分	
平成8年	危険物施設の腐食を防ぐ	VHS	30分	
平成8年	危険物の安全な容器と運搬	VHS	23分	
平成8年	屋外タンクの設置と安全性（設計から完成まで）	VHS	29分	
平成9年	地震だ！あなたは どうする ～危険物～	VHS	20分	
平成10年	目で見るとヒヤリ・ハット ～コンビナート施設～	VHS	21分	
平成11年	給油取扱所の安全を守る ～危険物保安監督者の責務～	VHS	20分	
平成12年	安全はみんなのもの ～ヒューマンエラーと保安対策～	VHS	21分	
平成13年	安全はみんなのもの ～工事中の事故防止～	VHS	20分	
平成14年	安全はみんなのもの ～給油取扱所の安全管理～	VHS	16分	
平成15年	K Y T手法による事故防止	VHS	18分	
平成15年	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	VHS	29分	KHK版
平成16年	事故事例に学ぶ日常点検のあり方～日常に潜む危険～	VHS	20分	
平成17年	自主保安へ たしかな一歩を～自主保安確立のための新たな視点～	VHS・DVD	20分	
平成18年	危険物施設の自主保安～リスクは潜む～	VHS・DVD	22分	
平成18年	危険物 6つの扉～危険物の性状と消火の方法～	V H S	31分	KHK版
平成18年	給油取扱所の安全を考える～ガソリンスタンドの火災防止対策～	V H S	25分	KHK版
平成18年	危険物施設の火災を防げ！～固定泡消火設備の仕組みと使い方～	V H S	35分	KHK版
平成19年	安全はつくるもの！～事故防止対策の推進～	VHS・DVD	27分	
平成20年	地震に備えていますか!?～事前の地震対策～	VHS・DVD	29分	
平成21年	危険物施設の流出事故を防げ！～危険物施設 流出事故ファイル～	VHS・DVD	28分	
平成22年	事例に学ぶ危険物施設の火災予防～事故ゼロをめざして～	DVD	29分	
平成23年	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策～危険物取扱者の役割～	DVD	36分	
平成24年	危険物施設におけるヒヤリハット～より高い安全をめざして～	DVD	37分	
平成25年	危険物取扱者の地震発生時の対応～そのとき あなたは何をすべきか～	DVD	37分	
平成26年	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	DVD	31分	
平成27年	危険物施設におけるヒューマンエラー	DVD	37分	

注) KHK：危険物保安技術協会

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

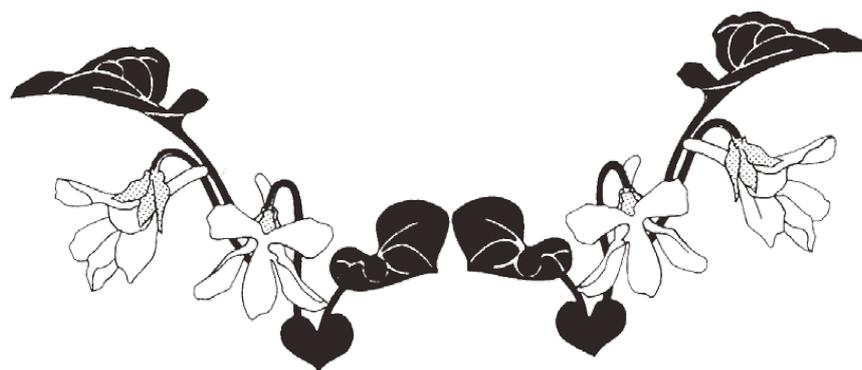
平成27年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会役員・地区協会会長名簿

平成27年6月26日現在

役職名	氏名	所属役職名
顧問	外岡 達朗	静岡県危機管理監兼危機管理部長
同	大橋 正行	静岡県消防長会会長
同	山梨 透	前連合会会長
参与	花嶋 隆	静岡県危機管理部消防保安課長

会長（理事）	中島 博康	沼津市防火協会会長
副会長（理事）	鈴木 裕司	浜松市防災協会会長
同	糠谷 徳昭	静岡市防災協会会長
常務理事	宮澤 武久	連合会事務局長
理事	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会会長
同	土屋 仁	藤枝市危険物安全協会副会長
同	須藤 裕	吉田榛原危険物安全協会副会長
同	鶴田 巖一	富士市防火協会会長
監事	望月 久司	静岡市防災協会副会長
同	鴨部 秀明	富士市防火協会副会長
地区協会会長	松本 大明	下田地区危険物安全協会会長
同	平山 大八	東伊豆町危険物安全協会会長
同	井原 宏政	伊東市危険物安全協会会長
同	内田 進	熱海市防火協会会長
同	松本 昭二	田方防火協会会長
同	中島 博康	沼津市防火協会会長
同	渡辺 隆司	清水町防火協会会長
同	室伏 勝宏	三島市防火協会会長
同	安達 裕之	長泉町防火協会会長
同	瀧本 敏幸	裾野市防火協会会長

役職名	氏名	所属役職名
地区協会会長	那須野孝之	御殿場市小山町防火安全協会会長
同	鶴田 巖一	富士市防火協会会長
同	山本 裕	富士宮市防火安全協会会長
同	糠谷 徳昭	静岡市防災協会会長
同	池田 敦郎	焼津市危険物安全協会会長
同	柳沼 功二	藤枝市危険物安全協会会長
同	寶勝 智貴	島田・北榛原地区危険物安全協会会長
同	高橋 美彦	吉田榛原危険物安全協会会長
同	河原崎勝弘	牧之原市相良地区危険物安全協会会長
同	野川 修身	御前崎市危険物安全協会会長
同	平松 敏和	菊川市危険物安全協会会長
同	桃本 亮	掛川市危険物安全協会会長
同	鈴木 克弘	袋井保安管理協会会長
同	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会会長
同	鈴木 裕司	浜松市防災協会会長
同	武藤 邦康	湖西市危険物安全協会会長



☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

賛 助 会 員 名 簿

(平成27年4月現在)

会員事業所名	住 所
静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3丁目8-1
東燃ゼネラル石油株式会社 清水油槽所	静岡市清水区袖師町1900番地
静岡県石油業協同組合	静岡市駿河区緑ヶ丘町1-3
一般社団法人静岡県LPガス協会	静岡市葵区本通6丁目1-10

平成27年度各委員会の委員名簿

(平成27年6月26日現在)

1 常任委員会

(1) 総務委員会 (委員長：鈴木裕司副会長) 9名

鈴木 裕司 (浜松市)	
松本 大明 (下田地区)	山本 裕 (富士宮市)
井原 宏政 (伊東市)	青木 徹 (焼津市)
村上 篤 (三島市)	桃本 亮 (掛川市)
安達 裕之 (長泉町)	田村 仁 (磐田市)

(2) 企画委員会 (委員長：糠谷徳昭副会長) 9名

糠谷 徳昭 (静岡市)	
稲葉 智之 (東伊豆町)	河原崎勝弘 (牧之原市相良地区)
向井 和之 (熱海市)	野川 修身 (御前崎市)
那須野孝之 (御殿場市小山町)	桃本 亮 (掛川市)
伊藤 毅 (清水町)	鈴木 克弘 (袋井)

(3) 広報委員会 (委員長：糠谷徳昭副会長) 8名

糠谷 徳昭 (静岡市)	
松本 昭二 (田方)	平松 敏和 (菊川市)
瀧本 敏幸 (裾野市)	濱中 秀弘 (磐田市)
鶴田 巖一 (富士市)	忠内 伸浩 (湖西市)
寶勝 智貴 (島田・北榛原地区)	

2 表彰委員会 (委員長：中島博康会長) 7名

中島 博康 (連合会会長)	
鈴木 裕司 (連合会副会長)	吉村 鉄也 (焼津市、中部地区)
糠谷 徳昭 (連合会副会長)	平松 敏和 (菊川市、西部地区)
村上 篤 (三島市、東部地区)	宮澤 武久 (連合会事務局長)

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会地区協会事務局住所

(平成27年4月1日)

地区協会名		郵便番号	住 所	電話番号	会員数 H27.1.1
東 部	下田地区危険物安全協会	415-0026	下田市6丁目1番地14号 下田消防本部内	0558-22-1849	89
	東伊豆町危険物安全協会	413-0411	東伊豆町稲取17番地の10 東伊豆町消防本部内	0557-95-0119	35
	伊東市危険物安全協会	414-0013	伊東市桜木町1丁目1番3号 伊東市消防本部内	0557-38-0198	125
	熱海市防火協会	413-0015	熱海市中央町1番1号 熱海市消防本部内	0557-86-6622	107
	田方防火協会	410-2318	伊豆の国市白山堂327番地の1 田方消防本部内	0558-76-5591	170
	沼津市防火協会	410-0053	沼津市寿町2番10号 沼津市消防本部内	055-920-9101	242
	清水町防火協会	411-0903	清水町堂庭212番地の1 清水町消防本部内	055-973-0119	34
	三島市防火協会	411-0837	三島市南田町4番40号 三島市消防本部内	055-972-5802	94
	長泉町防火協会	411-0942	長泉町中土狩910番地の1 長泉町消防本部内	055-986-1199	48
	裾野市防火協会	410-1117	裾野市石脇515番地 裾野市消防本部内	055-992-3212	74
	御殿場市小山町防火安全協会	412-0026	御殿場市東田中1丁目19番1号 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部内	0550-83-0119	173
	富士市防火協会	417-8601	富士市永田町1丁目100番地 富士市消防本部内	0545-55-2860	209
	富士宮市防火安全協会	418-8601	富士宮市弓沢町150番地 富士宮市消防本部内	0544-22-1199	181
	中 部	静岡市防災協会	420-0853	静岡市葵区追手町6番2号 静岡市消防局内	054-255-6565
焼津市危険物安全協会		425-0041	焼津市石津728番地の2 志太消防本部予防課内	054-623-0119	169
藤枝市危険物安全協会		425-0041	焼津市石津728番地の2 志太消防本部予防課内	054-623-0119	136
島田・北榛原地区危険物安全協会		427-0048	島田市旗指513番地の1 島田市消防本部内	0547-37-0171	174
吉田榛原危険物安全協会		421-0301	吉田町住吉1386番地の5 吉田町牧之原市広域施設組合消防本部内	0548-32-7944	131
牧之原相良地区危険物安全協会		421-0523	牧之原市波津191番地1 牧之原市相良消防本部	0548-53-2128	105
御前崎市危険物安全協会		437-1602	御前崎市比木1911番地の2 御前崎市防本部内	0537-85-2657	80
西 部	菊川市危険物安全協会	439-0022	菊川市東横地385 菊川市消防本部内	0537-35-3284	110
	掛川市危険物安全協会	436-0079	掛川市掛川1102番地の2 掛川市消防本部内	0537-21-6103	215
	袋井保安管理協会	437-0064	袋井市川井996番地の2 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部内	0538-44-5115	164
	磐田市危険物安全協会	437-1292	磐田市福田400番地 磐田市消防本部内	0538-59-1720	204
	浜松市防災協会	430-0905	浜松市中区下池川町19番1号 浜松市消防局内	053-476-1476	697
	湖西市危険物安全協会	431-0442	湖西市古見1076番地 湖西市消防本部内	053-574-0212	78
合 計					4,159

注) 会員事業所数は、平成27年1月1日現在

☆☆☆編集後記☆☆☆

連合会事務局の主要事業の一つであります「会報」65号の発行にあたって、寄稿をお願いしましたところ、国関係の表彰受賞者を始め、地区協会の役員・職員など多くの方々にご協力をいただき、ようやく発行することができました。関係の皆様方の絶大なるご支援に感謝を申し上げます。

この「会報」65号を、連合会や、連絡会、地区協会の活動記録として残していただきたいと思います。また、地区協会の会長さんなど役員の皆さんから寄稿をいただいたコラムは、是非、一読されることをお勧めします。会長さん達の隠れた一面が覗えますし、読み物としても大変に面白いものとなっています。

今後も、会員の皆様方や、消防機関の皆様方には、当連合会の事業に引き続きご協力・ご支援をいただきますよう宜しくお願いいたします。



「会報」 第65号

平成27年9月30日 発行

○発行所 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2号
相川伝馬町ビル7階
電 話 054-252-5512
F A X 054-273-6524
E-mail : sizu-kenkiren@muse.ocn.ne.jp
<http://www.11.ocn.ne.jp/~s-kiren/>

○印刷所 松本印刷株式会社
〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号



危険物災害をなくす
ひんげん

はっけよい

気持ち集中

無事故へと

遠藤 (追手風部屋)

消防庁 / 都道府県 / 市町村 / 全国消防長会 / 一般財団法人全国危険物安全協会

このポスターは、危険物安全週間推進協議会が制作しています。

